

別紙 1 規制等

- (1) 都市計画区域 ○内
- (2) 計画道路 ○無
- (3) 市街化調整区域 ○内
- (4) 用途地域 ○区域外（容積率 400%、建蔽率 70%）
- (5) 防火地域 ○指定無
- (6) その他の地区指定 ○建築基準法第 22 条指定区域内
- (7) 日影に関する条例、電波障害、その他の指導事項 ○無
- (8) 騒音、振動規制 ○指定区域外

但し、本施設は下記基準を満足すること。

・騒音規制基準

時間帯	基準値
朝(午前 6 時から午前 8 時まで)	60 dB
昼間(午前 8 時から午後 6 時まで) 夕(午後 6 時から午後 10 時まで)	65 dB
夜間(午後 10 時から午前 6 時)	55 dB

・振動規制基準

時間帯	基準値
朝(午前 8 時から午後 7 時まで)	65 dB
夜間(午後 7 時から午前 8 時まで)	60 dB

(9) 悪臭規制基準

特定悪臭物質	濃度 (ppm)	備考
アンモニア	1	
メチルメルカプタン	0.002	
硫化水素	0.02	
硫化メチル	0.01	
二硫化メチル	0.009	
トリメチルアミン	0.005	

なお、本施設外壁から 5m の位置(4 か所)および脱臭装置排気口、換気口、脱臭設備出口など建屋からの排出口において上表の臭気強度 2.5 (臭気指数 15) 以下を遵守すること。

汚泥をトラック搬送する場合、トラックから 5m の位置において上記の排出口基準を満足すること。

(10) 排出ガス基準

伝熱面積 10m² 以上及び燃焼能力 50L/時以上の温水ボイラー等にて加温等を行う必要がある場合、以下の基準を満足すること。

項目	規制値	備考
硫黄酸化物	次式により算出された値を許容限度とする。 $q = K \times 10^{-3} He^2$ q : 硫黄酸化物の許容排出量 (単位: 温度零度・圧力 1 気圧の状態に換算した m ³ 毎時) K : 地域別に定める定数 He : 補正された排出口の高さ (煙突実高 + 煙上昇高)	
窒素酸化物	使用する装置は大気汚染防止法に順守のこと。	
ばいじん	使用する装置は大気汚染防止法に順守のこと。	

(11) 敷地条件

① 敷地面積 172,000 m²

② 敷地の高低等

- ・ 高低差 無
- ・ がけ指定 無

③ 地形状況

候補地	設計地盤高 (GL) (m)	平均地盤高 (m)
候補地 A	20.70	20.49
候補地 B	19.70	20.05
候補地 C	19.70	19.61

※本事業において、必ずしも設計地盤高に整地する必要はなく、維持管理性等を考慮して地盤高さを決定すること。

④ 土質

- ・ 近隣の土質調査 有
- ・ 近隣建物の基礎形状 直接基礎

⑤ 敷地境界石 無

⑥ 盛土、整地、土留等の必要性 無

⑦ ガス プロパンガス

⑧ 上水 水道水

⑨ 障害物 埋設配管など (候補地による)

⑩ 敷地の前歴 水田 果樹園

⑪ 車の進入路 (工所用道路も考慮) 場内道路

- ⑫ 事務所用地、作業場の確保 ●敷地内
- ⑬ 搬出土等の処分地 ●有
- ⑭ 土の仮地 ●有（敷地内）工事予定敷地内での仮置きは可能。
- ⑮ 対策浸水深

候補地	対策浸水深(m)
候補地 A	1.39
候補地 B	1.83
候補地 C	2.27

(11) 気象（アメダス弘前 2020 年）

- ① 最多風向 夏季：南、冬季：西
- ② 気温

年平均気温	最高気温	最低気温	年間降水量	最深積雪量
11.5 度	34.4 度（8 月）	-8.2 度（12 月）	1433.5mm	73cm（2 月）
- ③ 凍結深度 57cm ($Z=C\sqrt{F}=3\sim5 \times \sqrt{155} = 37.3\sim62.2 \Rightarrow 57\text{cm}$)
 - Z：凍結震度 [cm]
 - F：凍結指数 [$^{\circ}\text{C} \cdot \text{days}$]（弘前 155）
 - C：係数 [3~5]
 - ※凍結深度は「別紙 1 6 既設舗装構成」の凍結深度 57cm を採用する。
 - ※基礎設計において建築主事へ確認を行うこと。
- ④ 積雪 構造計算用積雪荷重 130 cm以上、単位重量 30N/m²/cm（長期荷重として考慮する）
- ⑤ 起こりやすい災害 ●雪 ●雷
- ⑥ 塩害地域の考慮 ●不要（直線距離：陸奥湾まで≒30 km、日本海まで≒27 km）

別紙 2 土質条件

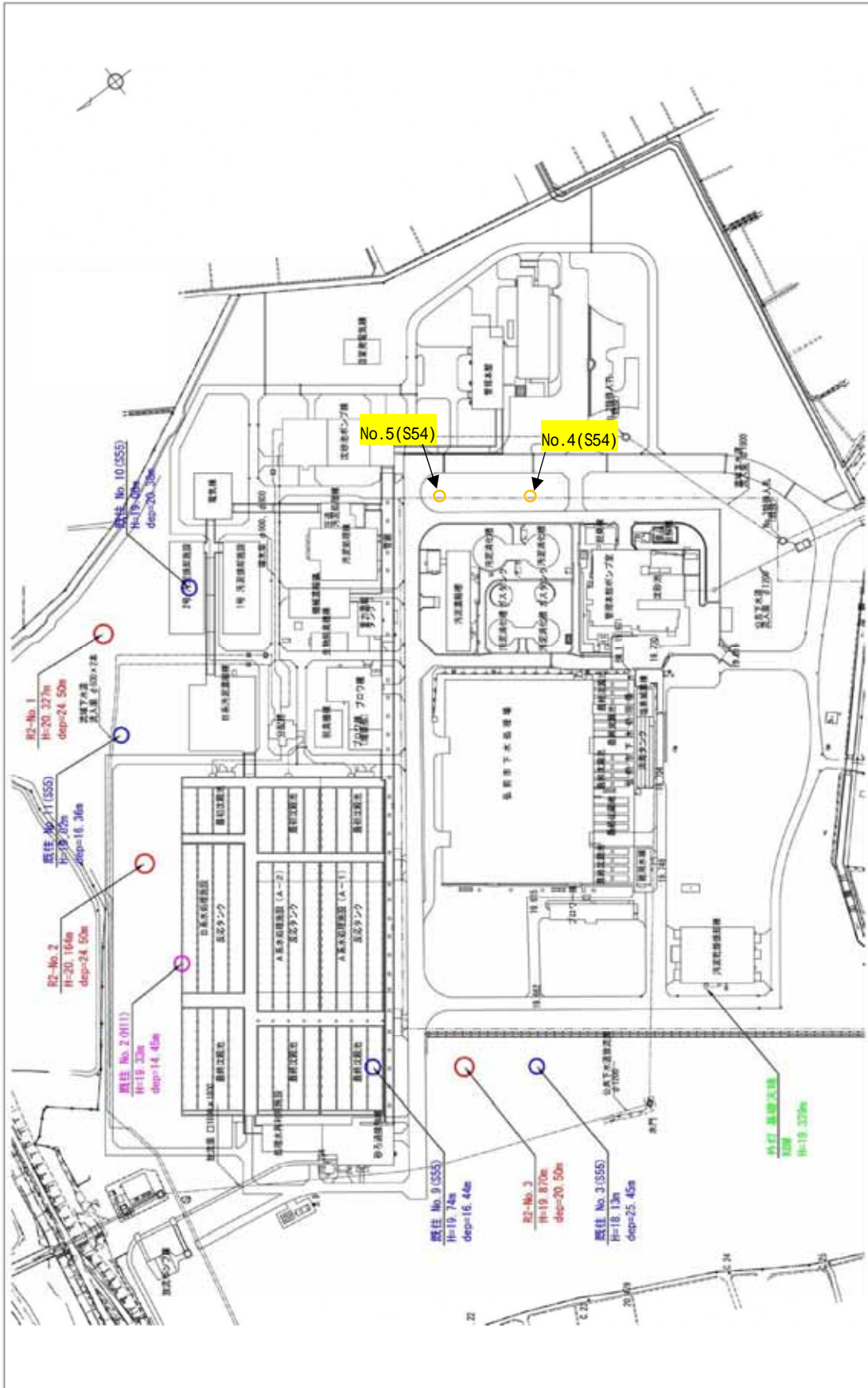


図-1.4.1 調査位置図 (S-1/2,000)

ボーリング柱状図

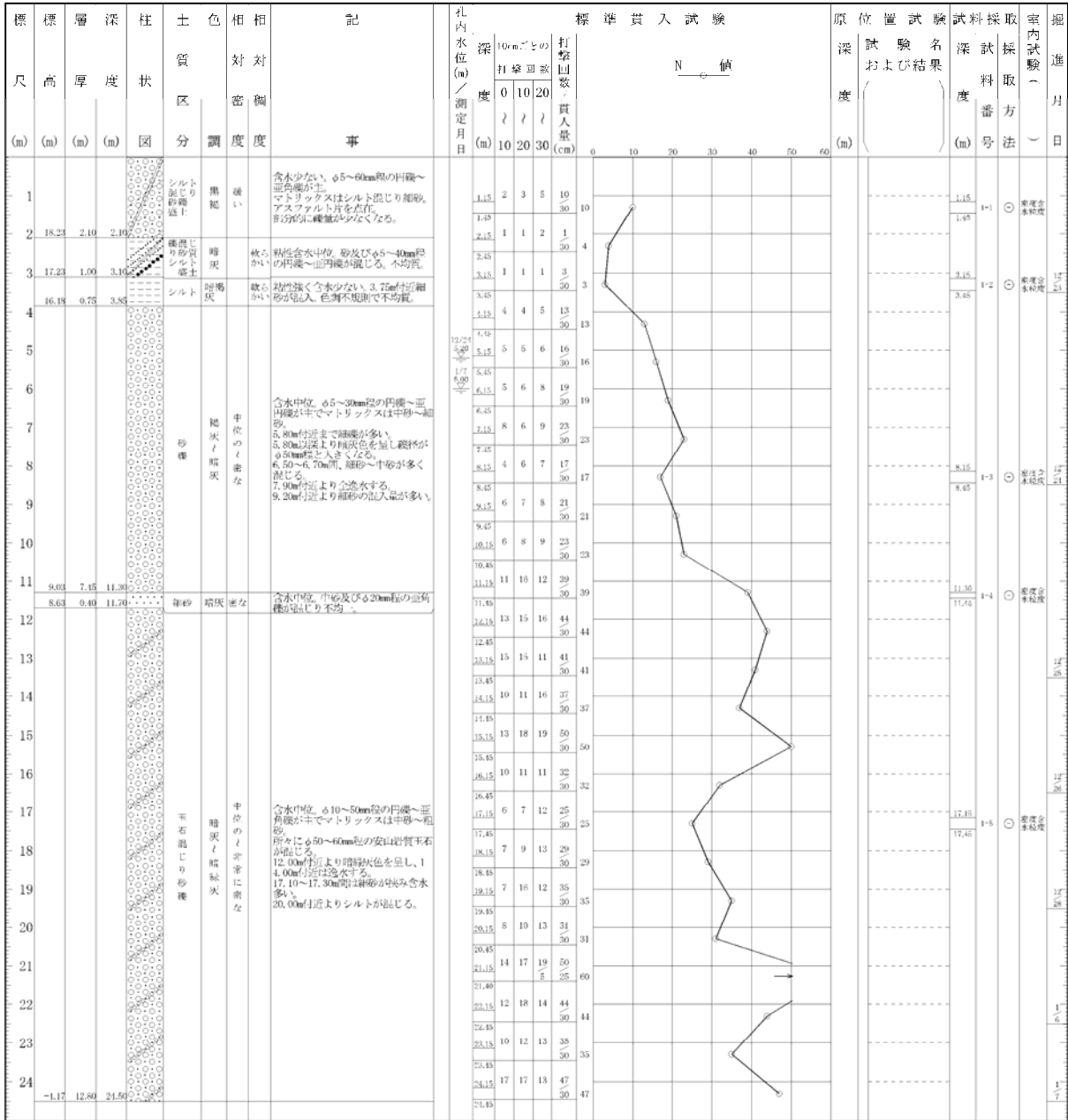
調査名 流1下委第4号岩木川流域下水道岩木川浄化センター地質調査業務委託

ボーリングNo	1
---------	---

事業・工事名

シートNo 1

ボーリング名	R2-NG.1	調査位置	青森県弘前市大字津賀野地内			北緯	40° 38' 56.29"		
発注機関	青森県中南地域県民局地域整備部		調査期間	令和2年12月22日～3年1月7日		東経	146° 29' 9.69"		
調査業者名	大泉開発株式会社 電話(017-781-6111)		主任技師	笠井毅	現場代理人	笠井毅	コア鑑定者	佐藤桜野	
ボーリング責任者	佐藤雅樹		試錐機	東邦D1-B48		ハンマー	半自動落下		
エンジン	ヤンマーNFD10		ポンプ	東邦BG-3B					
孔口標高	H=20.327m	角	180°		方	北0°		地盤勾配	鉛直
総掘進長	21.50m	度	上90°		向	270°		鉛直	90°



ボーリング柱状図

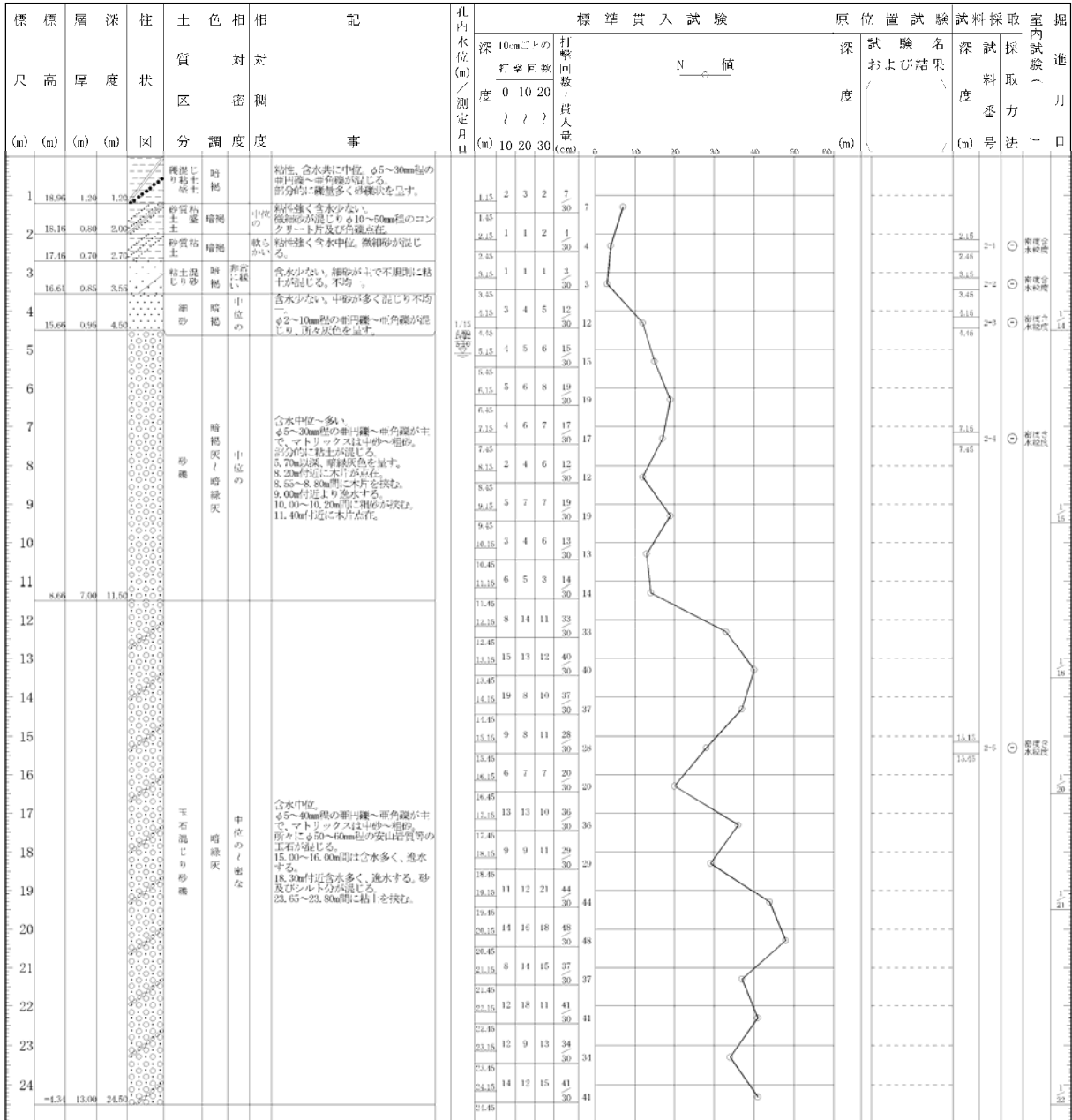
調査名 流1下委第1号岩木川流域下水道岩木川浄化センター地質調査業務委託

ボーリングNo 2

事業・工事名

シートNo 2

ボーリング名	R2-No.2	調査位置	青森県弘前市大字津賀野地内	北緯	40°38'58.26"
発注機関	青森県中南部地域県民局地域整備部	調査期間	令和3年1月14日～3年1月25日	東経	140°29'4.81"
調査業者名	大泉開発株式会社 電話(017-781-6111)	主任技師	笠井毅	現代人	笠井毅
孔口標高	H=20.169m	地盤勾配	鉛直90°	コ定者	佐藤俊野
総掘進長	21.50m	使用機種	東邦D1-B48	ハンマー	落下用具
		エンジン	ヤマハNFD10	ポンプ	東邦BC-3B



ボーリング柱状図

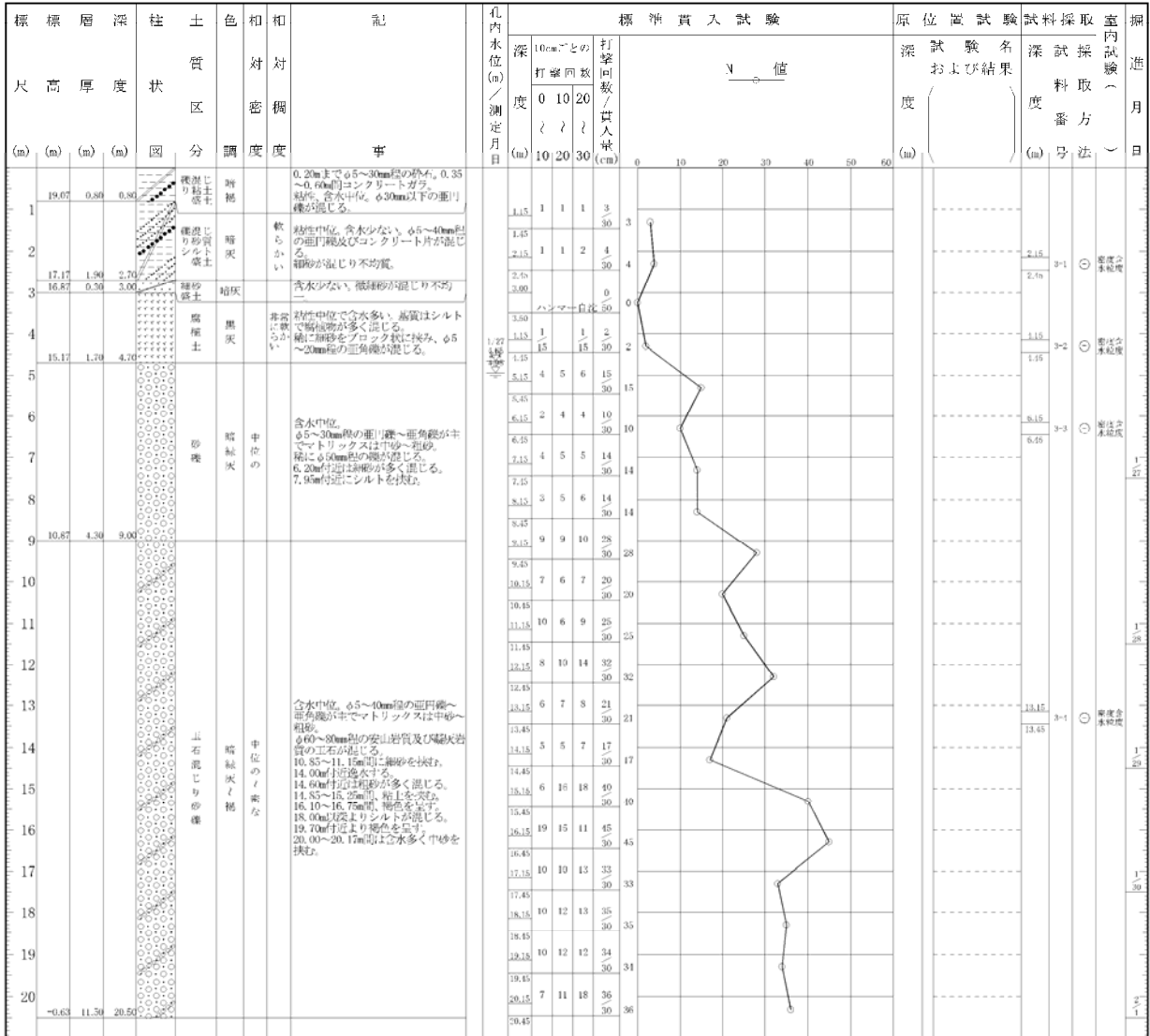
調査名 流1下委第4号岩木川流域下水道岩木川浄化センター地質調査業務委託

ボーリングNo 3

事業・工事名

シートNo 3

ボーリング名	R2-No.3	調査位置	青森県弘前市大字津賀野地内	北緯	40° 38' 55.33"
発注機関	青森県中南部地域民局地域整備部	調査期間	令和3年1月26日～3年2月2日	東経	140° 28' 56.96"
調査業者名	大泉開発株式会社 電話(017-781-6111)	主任技師	笠井毅	現場代理人	笠井毅
孔口標高	H=19.870m	角	180°	方	北
総掘進長	20.50m	度	0°	向	西
		地盤勾配	鉛直	水平	0°
		使用機種	東邦D1-B48	ハンマー	落下用具
		エンジン	ヤンマーNFD10	ポンプ	東邦BG-3B
				ボリング責任者	佐藤雅樹



岩木川流域下水道地質調査その1委託										土質柱状図									
調査場所			弘前市津賀野地内			調査年月日			標高			19.644m							
試錐No.			4孔			機種名			EH-5型			調査担当者			増田弘志				
掘進深度			20.00 m			株式会社 北日本建設コンサルタント													
掘進孔径			φ66 mm			青森県弘前市大字堅田字宮川286番地1 TEL 代表(34) 1758													
層尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質名	色調	観察	相対密度	コテンシス1	地下水	標準貫入試験					不撓乱試験番号	採取深度		
											深度	N値	10cm	20cm	30cm				
0.874	0.90	0.90		シルト(盛土)	黒灰		所々露点在含水大				1.00	1	1	2					
1.744	2.20	1.30		シルト質ローム	茶		粘粒、含水大 細砂、小浮石少量混入				1.30	1	1	1					
1.614	3.50	1.30		シルト	暗灰		含水粘性大 腐植物点在 2.60m~3.00m 細砂はさむ 3.00m~3.50m 砂質シルトはさむ				2.30	1	1	1					
1.524	3.80	0.30		細砂	暗灰		石英砂 浮石 腐植物混入				3.30	1	1	1					
							礫最大50%~60% 石英砂、浮石混入 6.00m付近シルト少量混入				4.00	6	6	6					
							礫最大50%~60% 石英砂、浮石混入 7.00m~8.50m 中砂はさむ 0.20m~0.30m位				4.50	6	6	6					
							礫最大80%~120%位 8.00m下部シルト少量混入 全体的に見ると粗砂主体の砂礫である 崩壊激しく掘進困難				5.00	6	6	6					
							礫最大50%~80% 石英砂、小浮石混入 所々玉石はさむ				5.30	7	7	8					
							礫最大100%~150%位 14.00m下部砂質シルトはさむ 0.40m位 礫は円礫が主体で所々中砂細砂はさむ				6.00	7	7	8					
							15.50m~16.00m付近 細砂はさむ 色は青灰に変つている				6.30	13	9	8					
							17.80m~砂質シルトはさむ				7.00	11	8	6					
							18.00m付近より青灰で 石英砂、中砂多量はさむ φ最大80%~120%				7.30	11	8	6					
											8.00	11	8	6					
											8.30	8	10	10					
											9.00	8	10	10					
											9.30	12	8	8					
											10.00	9	10	10					
											10.30	14	14	11					
											11.00	15	13	13					
											11.30	15	14	16					
											12.00	15	14	16					
											12.30	21	19	10					
											13.00	24	15	4					
											13.30	25	15	5					
											14.00	26	15	5					
											14.30	28	22	6					
											15.00	28	22	6					
											15.24	28	22	6					
											16.00	28	22	6					
											16.15	28	22	6					
											17.00	28	22	6					
											17.16	28	22	6					
											18.00	28	22	6					
											18.23	28	22	6					
											19.00	28	22	6					
											19.29	28	22	6					
											20.00	28	22	6					
											20.27	28	22	6					

備考:

試料採取方法の記号

- シンウォールサンプラー
- 貫入試験用サンプラー

- デリソン型サンプラー
- ⊕ フォイルサンプラー
- × その他

岩木川流域下水道地質調査その1委託										土質柱状図																			
調査場所					弘前市津賀野地内					調査年月日					標高					19.996m									
試錐No.					5孔					機種名					EH-1型					調査担当者					増田弘志				
掘進深度					20.00 m					株式会社 北日本建設コンサルタント 青森県弘前市大字堅田字宮川286番地1 TEL 代表(34) 1758																			
掘進孔径					φ66 mm																								
掘尺 (m)	掘高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質名	色調	観察	相対密度	コンシメンス	地下水	標準貫入試験					不撓乱試験番号	採取深度												
											深度	N値	10cm毎の打撃回数	10	20			30	40	50									
	17.59	2.40	2.40	砂質シルト	G、γ=18.0	茶/暗灰	上部碎石混入。所々塵状土と混ざり、1.0m以下は砂質シルト、有機物、厚石混入。1.60m~2.20m付近シルト質ロームはさむ。			中位の	1.00	18.70	2	2	2														
	16.49	3.50	1.10	シルト		暗灰	含水、粘性大。2.80m~3.20m木片混入。所々砂質シルト厚石少量混入。			やわらかい	2.35	3.00	3	3	3														
5				砂混り粗砂	G-S、γ=20.0	暗灰	最大径20%~30% 石英砂、小厚石混入。3.80m付近シルト少量混入。礫は円礫が主体である。所々中砂、細砂状にはさむ。6.50m~7.00m付近シルト少量混入。8.00m付近礫径が大きくなり40%~70%位。9.10m砂質シルト少量はさむ。12.00m付近より礫径最大50%~80%。12.50m~13.00m 角礫少数はさむ。最大径50%~150%。15.00m以深前増激しく試験難こう。16.70m~付近シルト少量混入。18.00m 砂質シルトはさむ 0.40m位。19.50m 付近より礫が多量はさむ。			中の	3.30	4.00	4	4	4														
10										密	4.30	5.00	5	5	5														
15										非常に密	5.30	6.00	6	6	6														
20	0.00	20.00	16.50							非常に密	6.30	7.00	7	7	7														
										中の	7.30	8.00	8	8	8														
										非常に密	8.30	9.00	9	9	9														
										中の	9.30	10.00	10	10	10														
										非常に密	10.30	11.00	11	11	11														
										中の	11.30	12.00	12	12	12														
										非常に密	12.30	13.00	13	13	13														
										中の	13.30	14.00	14	14	14														
										非常に密	14.30	15.00	15	15	15														
										中の	15.30	16.00	16	16	16														
										非常に密	16.30	17.00	17	17	17														
										中の	17.30	18.00	18	18	18														
										非常に密	18.30	19.00	19	19	19														
										中の	19.30	20.00	20	20	20														
										非常に密	20.23	20.23	23	23	23														

備考:

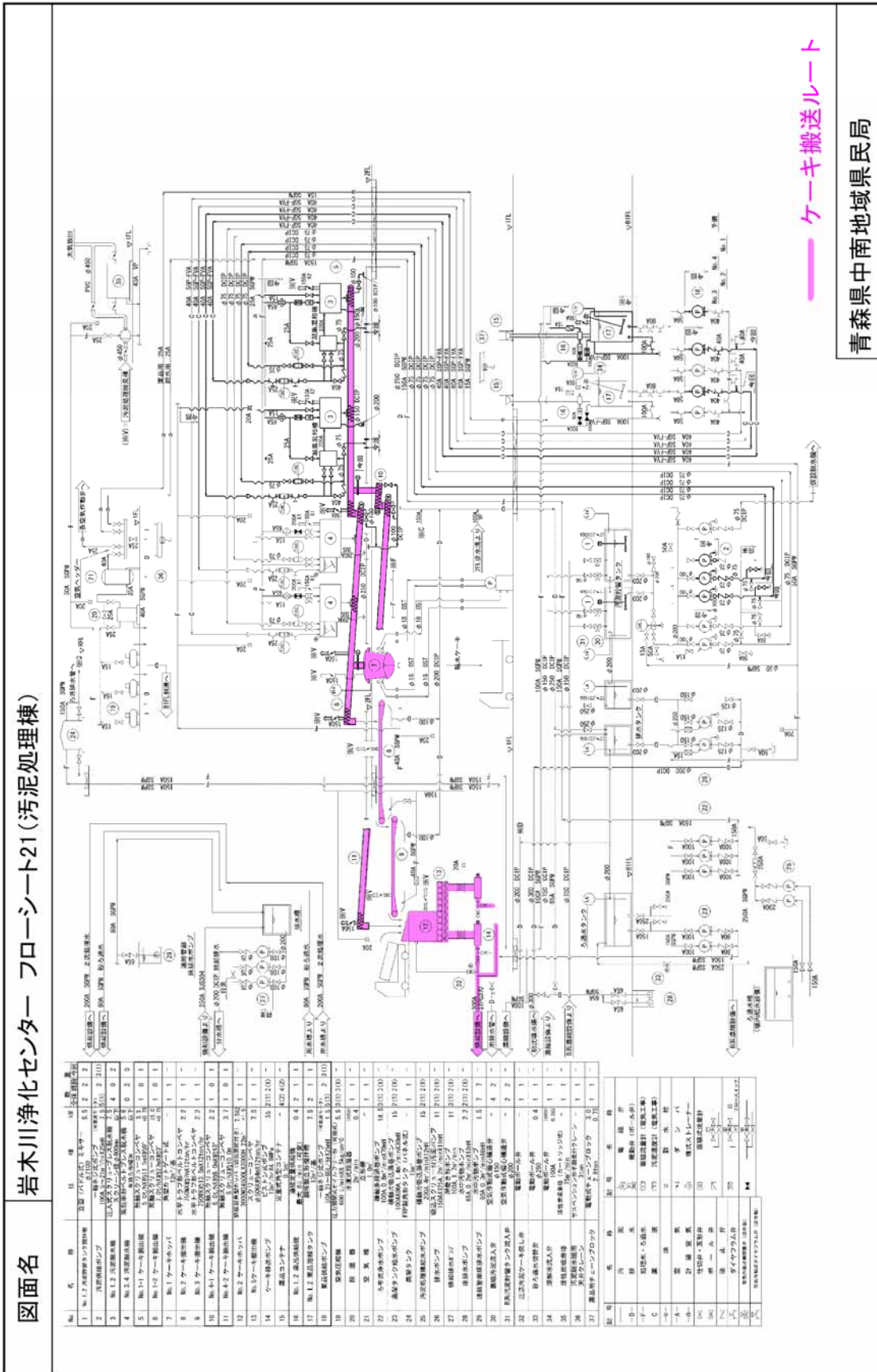
試料採取方法の記号

- シンワールサンプリャー
- 貫入試験用サンプリャー

- ⊙ デニソン型サンプリャー
- ⊕ フォイルサンプリャー
- × その他

別紙 3 脱水汚泥供給箇所

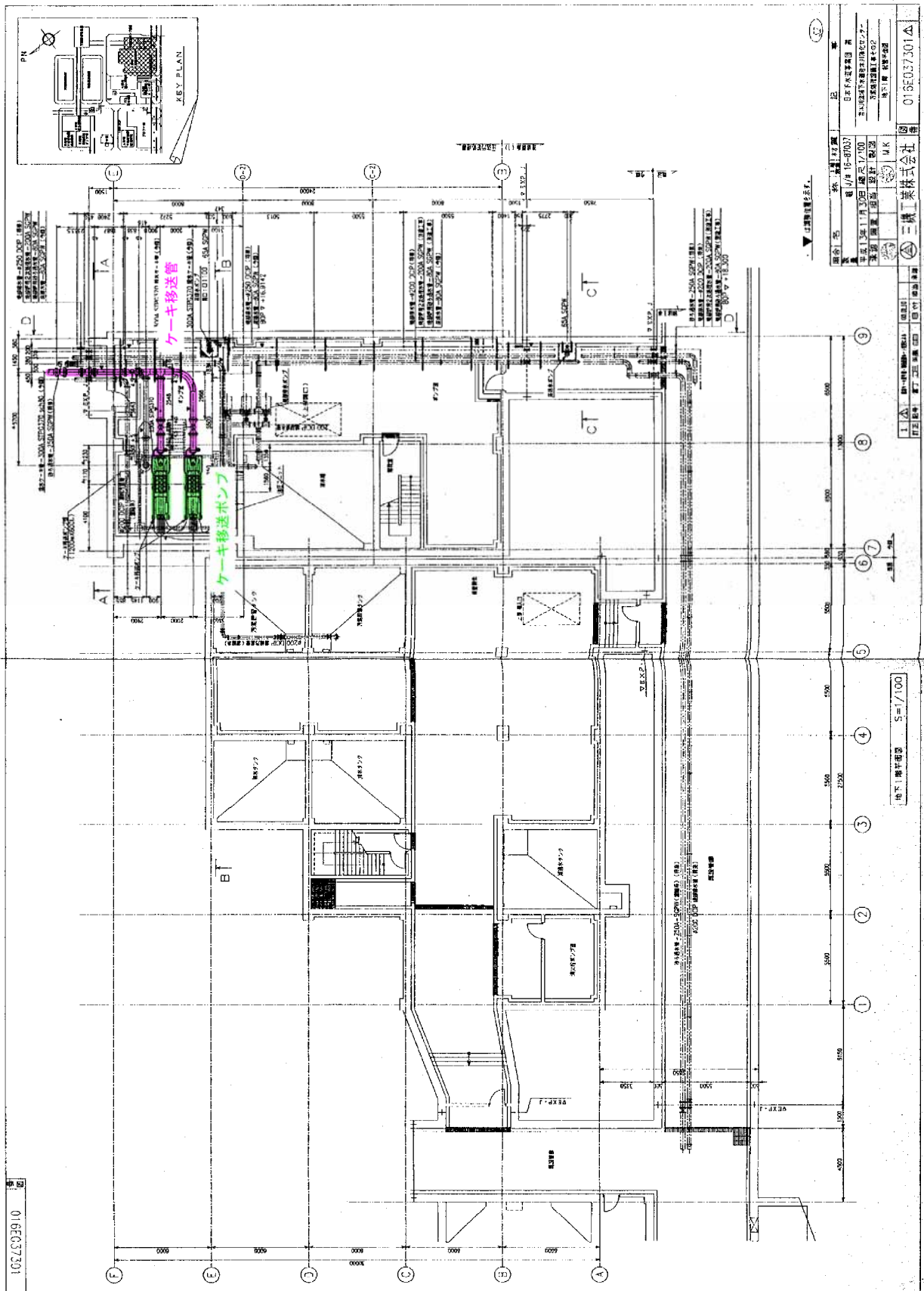
① ケーキ移送ポンプ配管



—— ケーキ搬送ルート

青森県中南地域民局

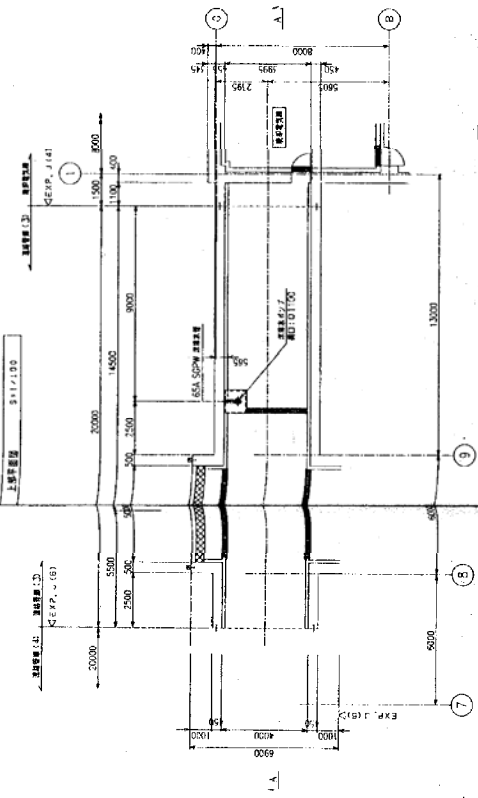
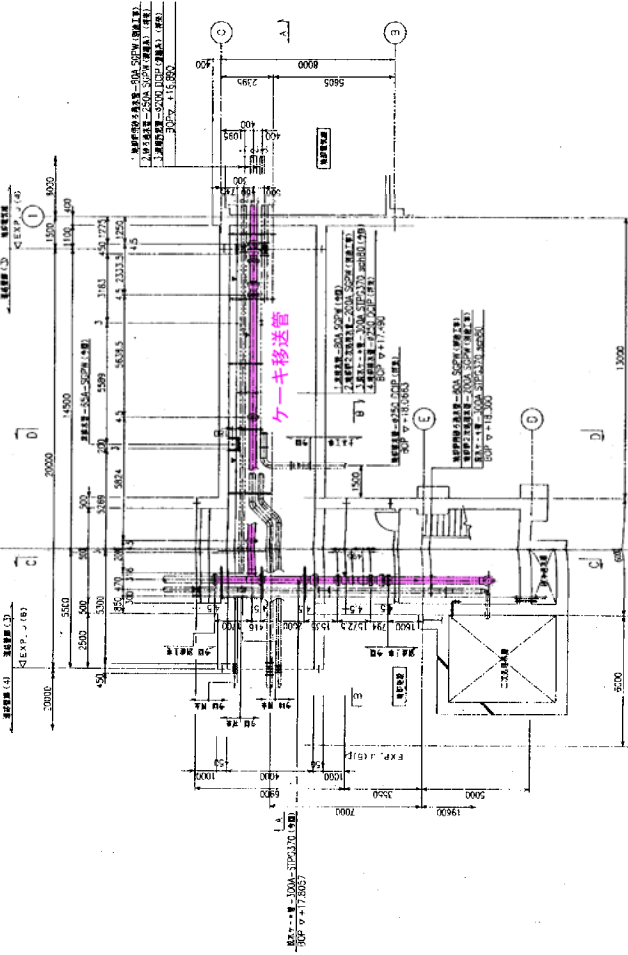
018E037301



地下、階平面図 S=1/100

図名	地下階平面図	図番	018E037301A
縮尺	1/100	設計者	三橋工業株式会社
作成	1998.11.10	承認者	三橋工業株式会社
変更	1999.03.10	変更者	三橋工業株式会社
備考	キー移送管の設置位置を参照してください。		

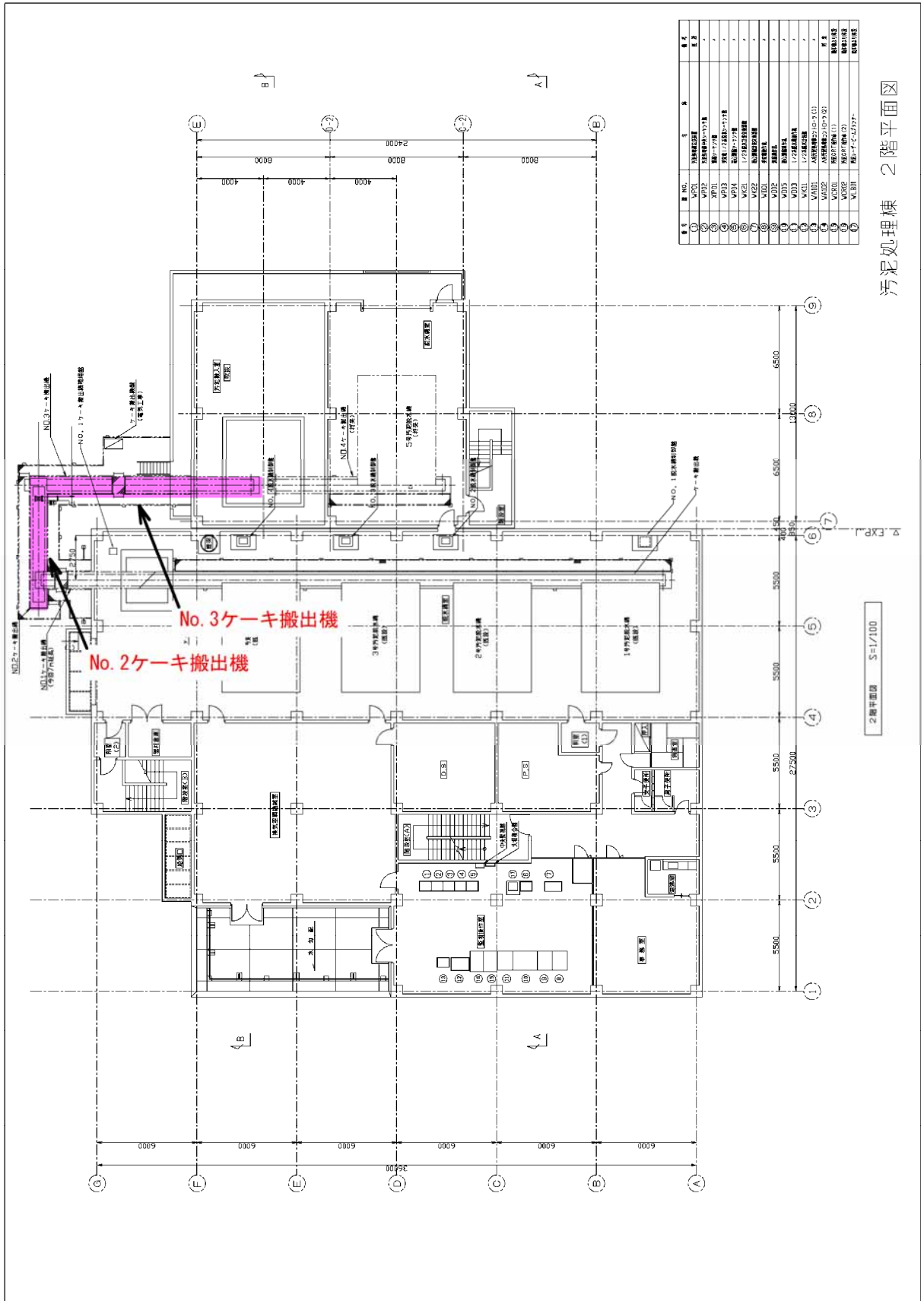
016E037306



図名	記	016E037306
種別	設計	
年月	15-07-27	
設計者	三井工業株式会社	
監理者	三井工業株式会社	
製図者	三井工業株式会社	
承認者	三井工業株式会社	
縮尺	1/100	
単位	mm	

1 建築図の外
 2 竣工図書
 3 設計図書

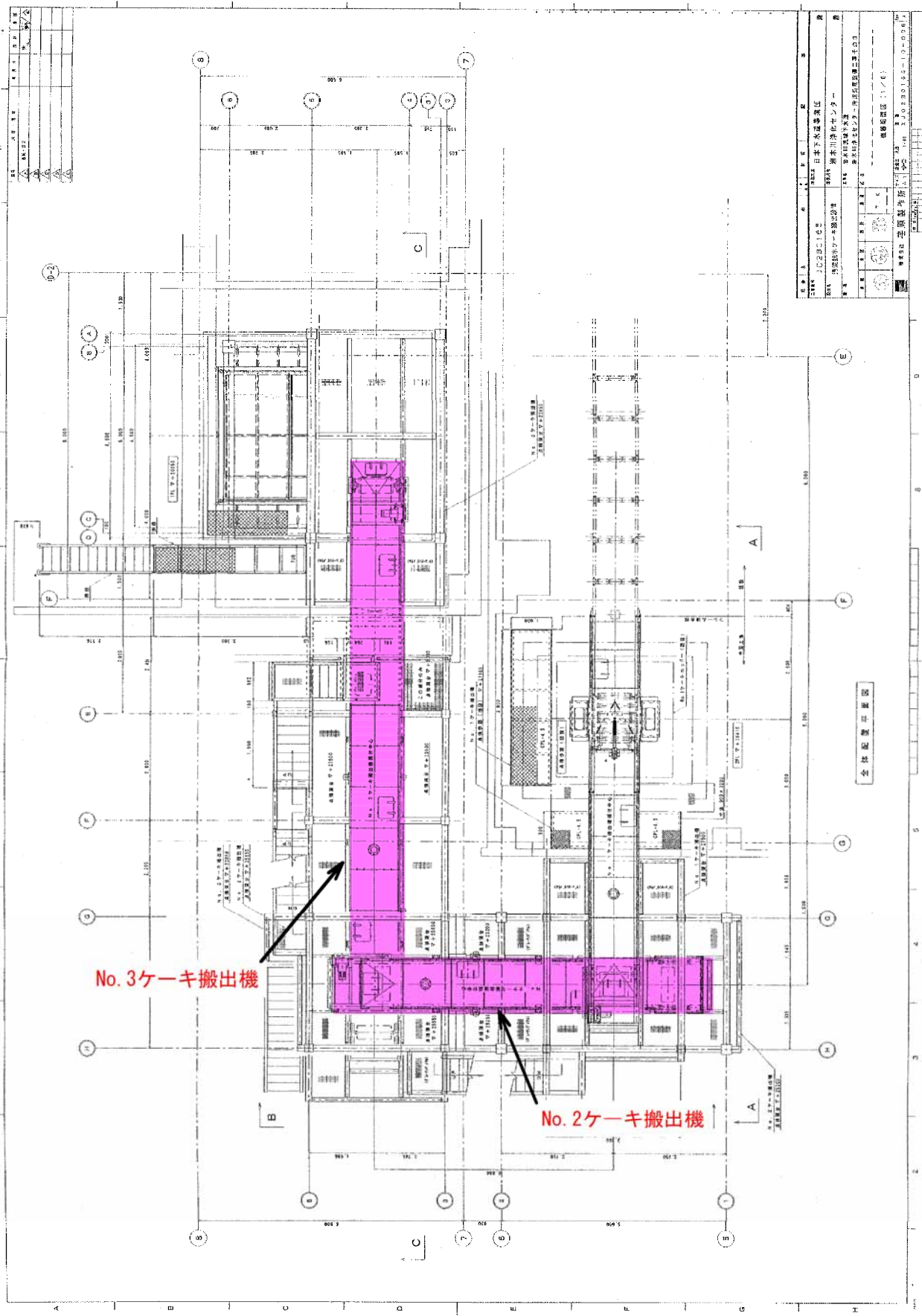
② コンベヤ

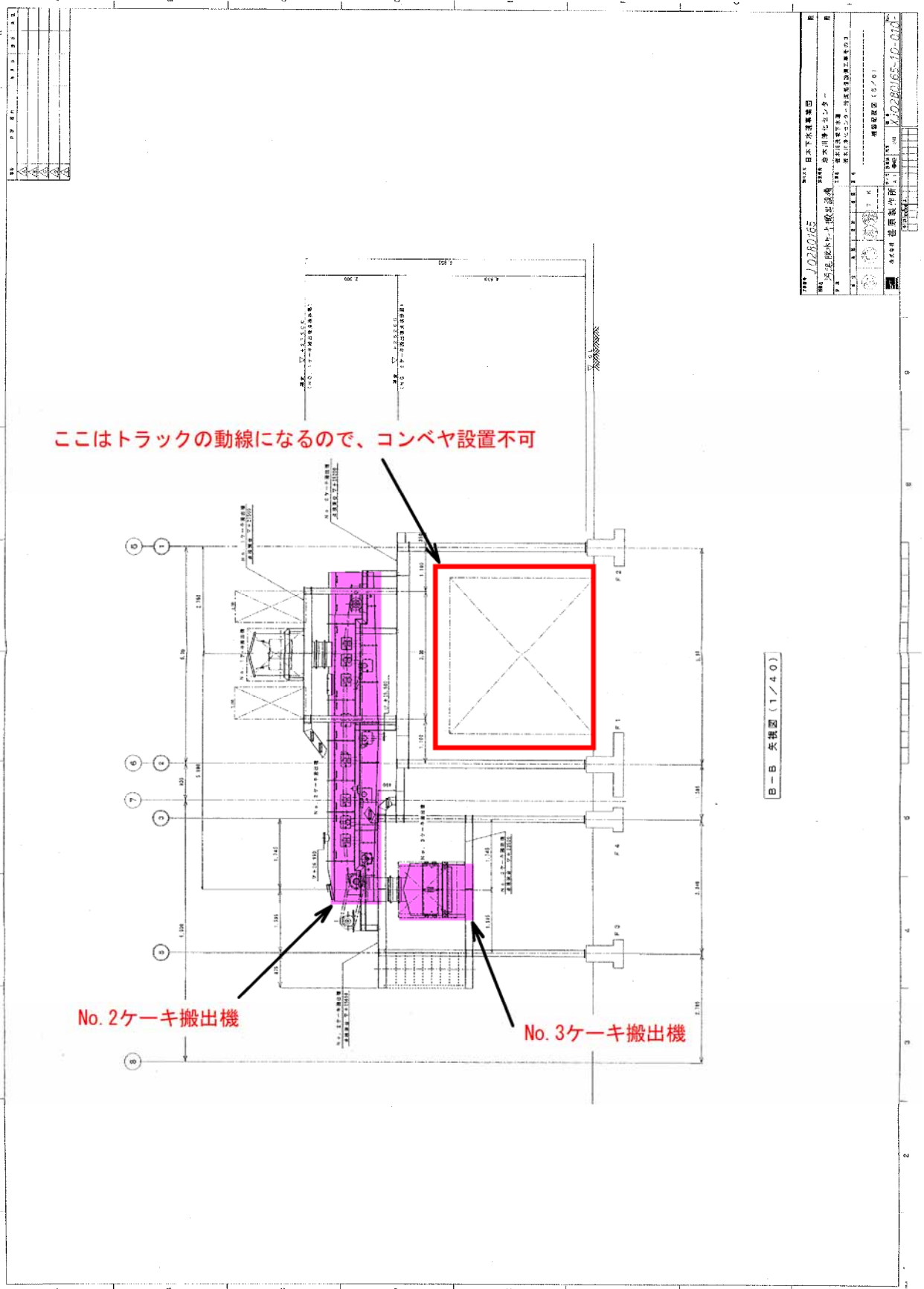


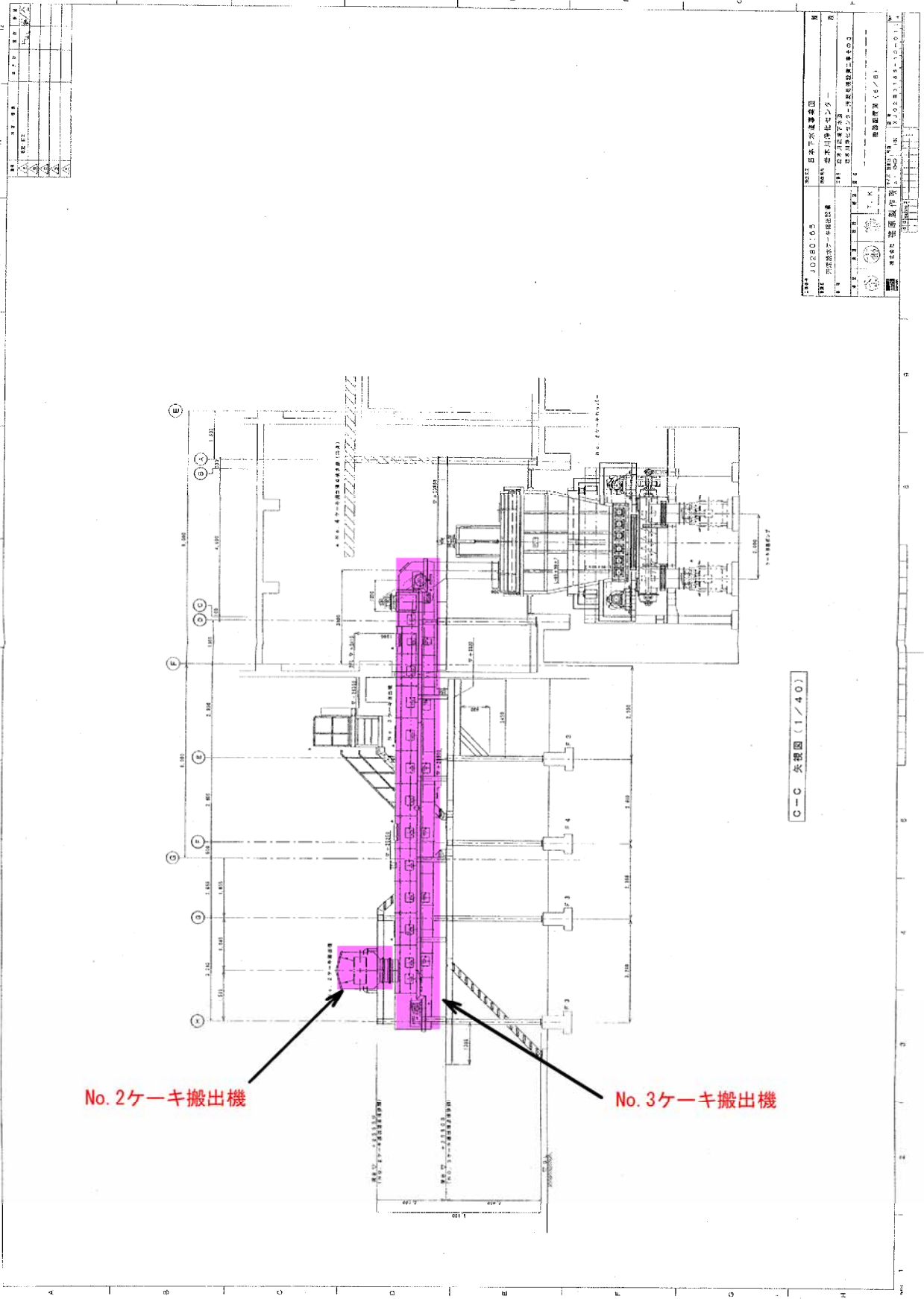
番号	機名	機種	数量	備考
①	MP01	1号作業室用コンベヤ	1	
②	MP02	2号作業室用コンベヤ	1	
③	MP03	3号作業室用コンベヤ	1	
④	MP04	S号作業室用コンベヤ	1	
⑤	MS01	1号作業室用モーター	1	
⑥	MS02	2号作業室用モーター	1	
⑦	MS03	3号作業室用モーター	1	
⑧	MS04	S号作業室用モーター	1	
⑨	MS05	配電室用モーター	1	
⑩	MS06	エレベーター用モーター	1	
⑪	MS07	階段用モーター	1	
⑫	MS08	エレベーター用モーター	1	
⑬	MS09	エレベーター用モーター	1	
⑭	MS10	エレベーター用モーター	1	
⑮	MS11	エレベーター用モーター	1	
⑯	MS12	エレベーター用モーター	1	
⑰	MS13	エレベーター用モーター	1	
⑱	MS14	エレベーター用モーター	1	
⑲	MS15	エレベーター用モーター	1	
⑳	MS16	エレベーター用モーター	1	
㉑	MS17	エレベーター用モーター	1	
㉒	MS18	エレベーター用モーター	1	
㉓	MS19	エレベーター用モーター	1	
㉔	MS20	エレベーター用モーター	1	
㉕	MS21	エレベーター用モーター	1	
㉖	MS22	エレベーター用モーター	1	
㉗	MS23	エレベーター用モーター	1	
㉘	MS24	エレベーター用モーター	1	
㉙	MS25	エレベーター用モーター	1	
㉚	MS26	エレベーター用モーター	1	
㉛	MS27	エレベーター用モーター	1	
㉜	MS28	エレベーター用モーター	1	
㉝	MS29	エレベーター用モーター	1	
㉞	MS30	エレベーター用モーター	1	
㉟	MS31	エレベーター用モーター	1	
㊱	MS32	エレベーター用モーター	1	
㊲	MS33	エレベーター用モーター	1	
㊳	MS34	エレベーター用モーター	1	
㊴	MS35	エレベーター用モーター	1	
㊵	MS36	エレベーター用モーター	1	
㊶	MS37	エレベーター用モーター	1	
㊷	MS38	エレベーター用モーター	1	
㊸	MS39	エレベーター用モーター	1	
㊹	MS40	エレベーター用モーター	1	
㊺	MS41	エレベーター用モーター	1	
㊻	MS42	エレベーター用モーター	1	
㊼	MS43	エレベーター用モーター	1	
㊽	MS44	エレベーター用モーター	1	
㊾	MS45	エレベーター用モーター	1	
㊿	MS46	エレベーター用モーター	1	

汚泥処理棟 2階平面図

2階平面図 S=1/100

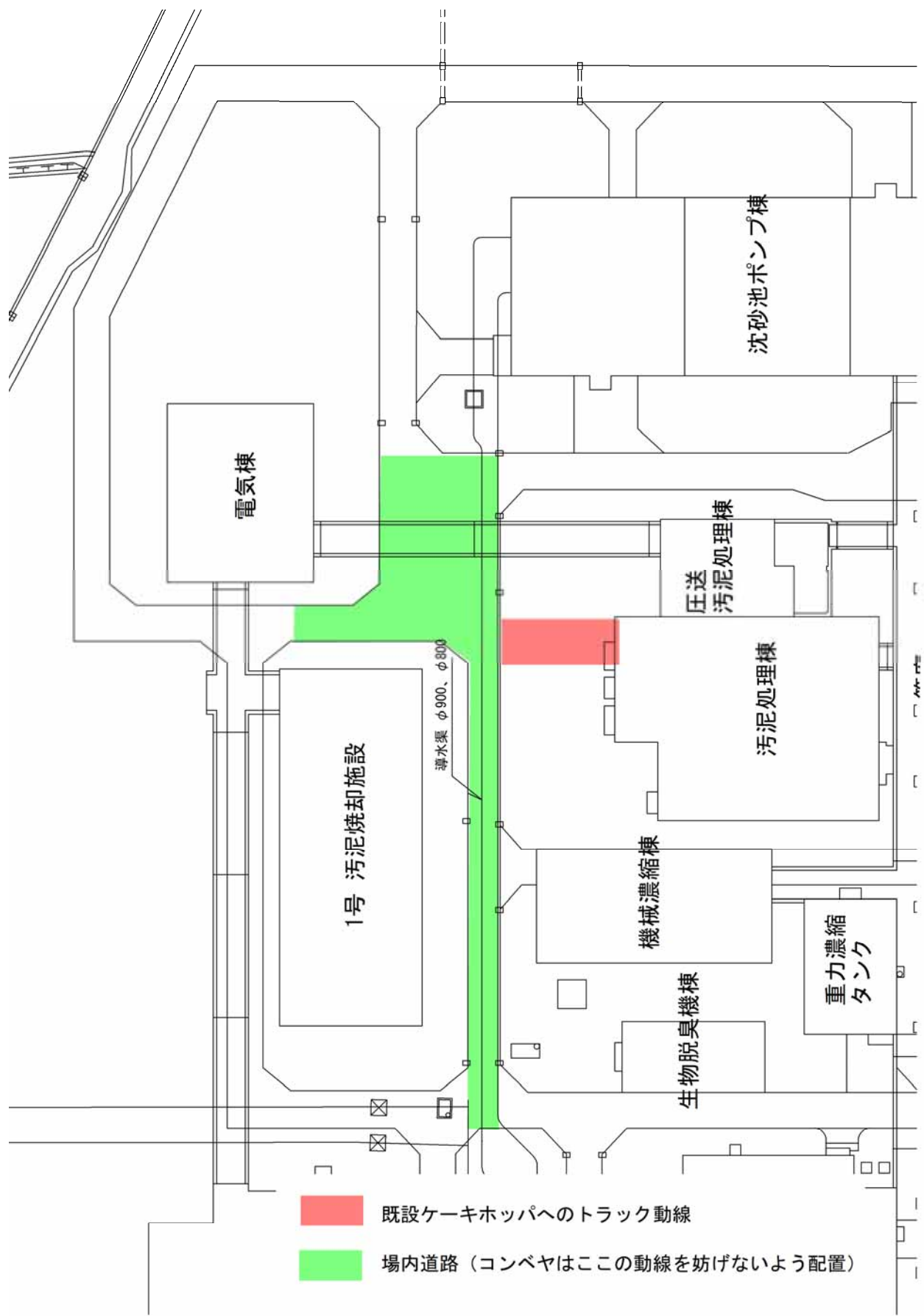






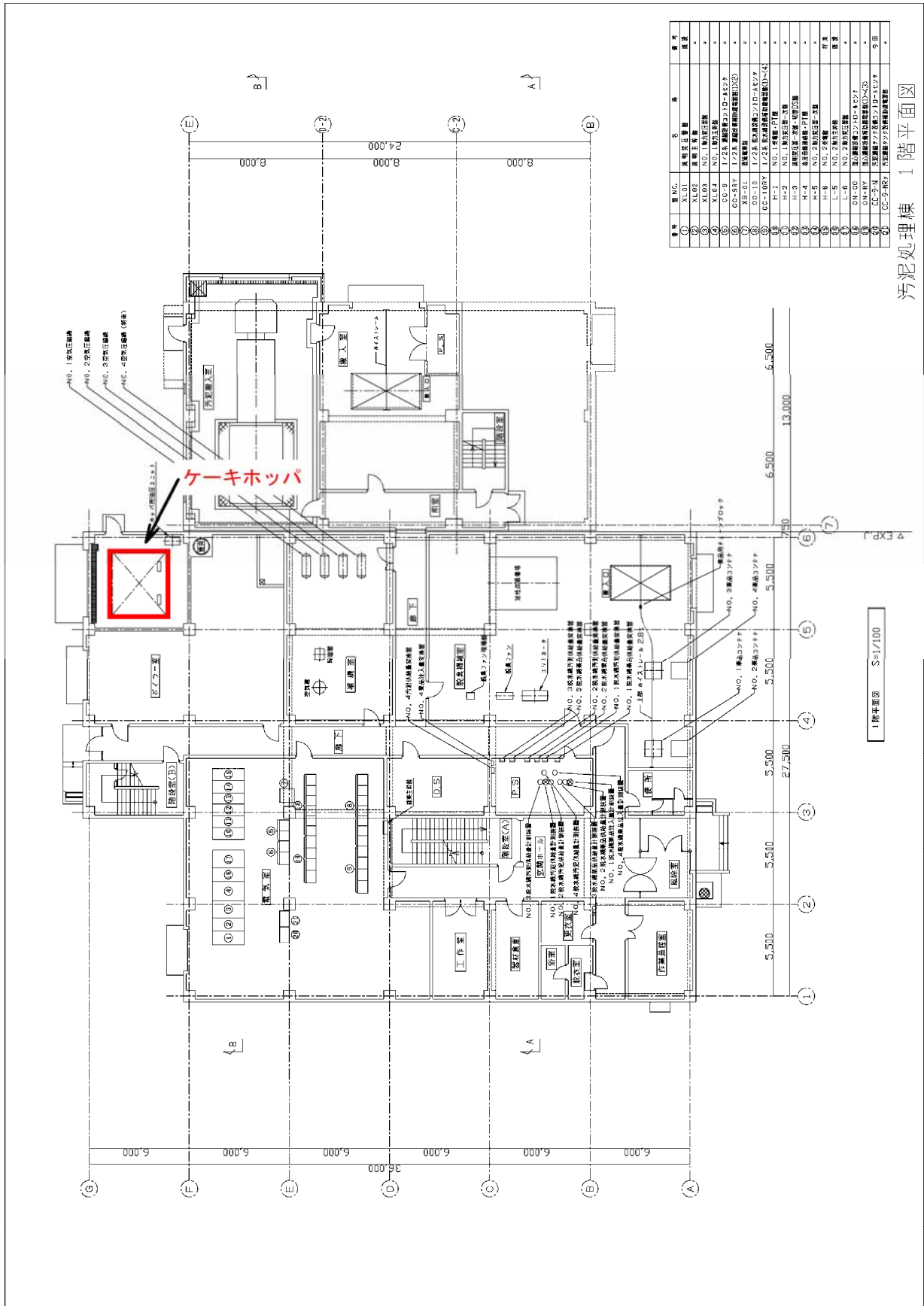
C-C 矢張り図 (1/40)

図番	J0280-65	社名	日本水産株式会社
図名	同機組立工程図	工場	愛知県津島市
製図	田中隆雄	設計	田中隆雄
検査	田中隆雄	承認	田中隆雄
縮尺	1/40	製図年月	昭和27年(1952)

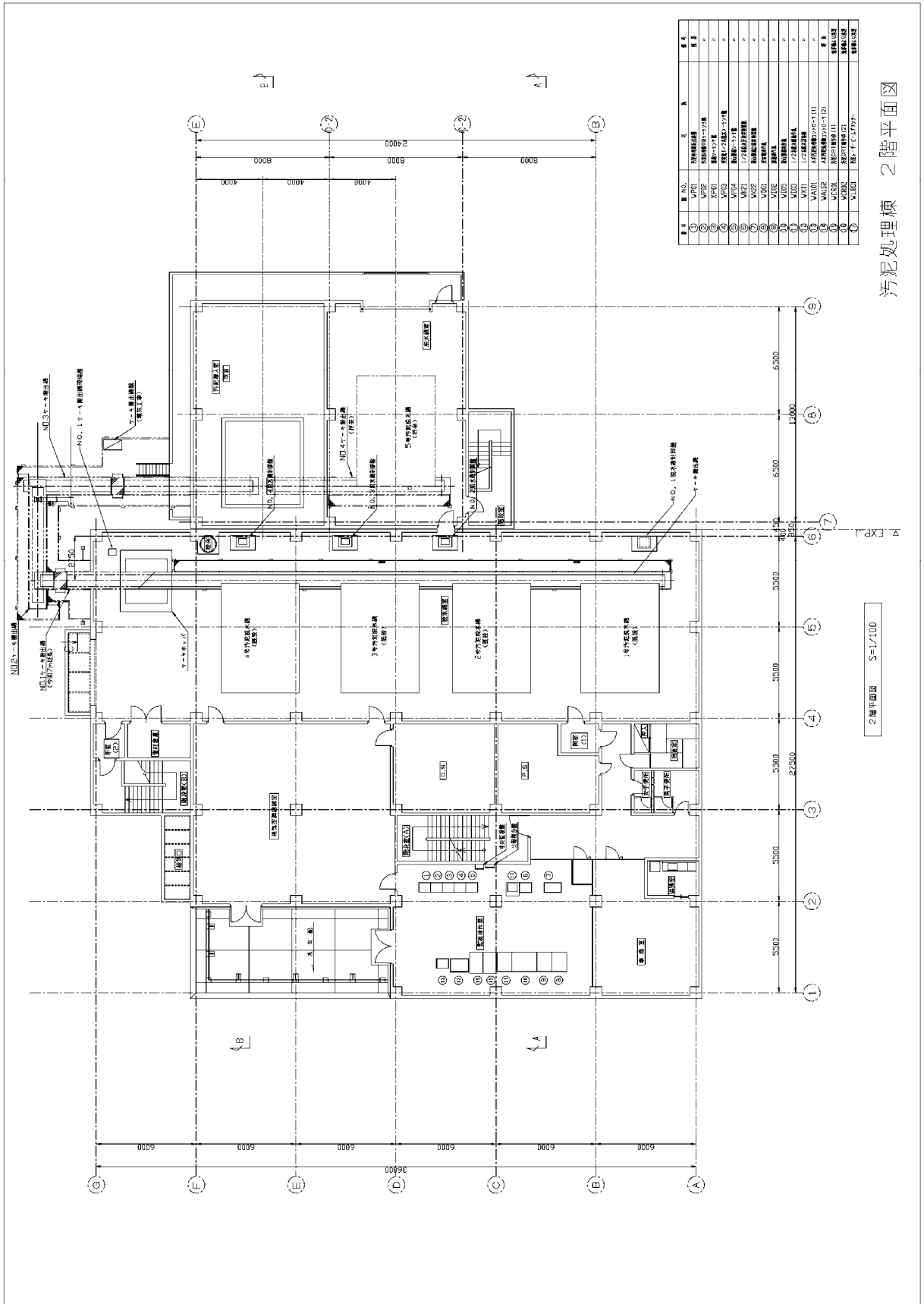


- 既設ケーキホッパへのトラック動線
- 場内道路（コンベヤはこの動線を妨げないよう配置）

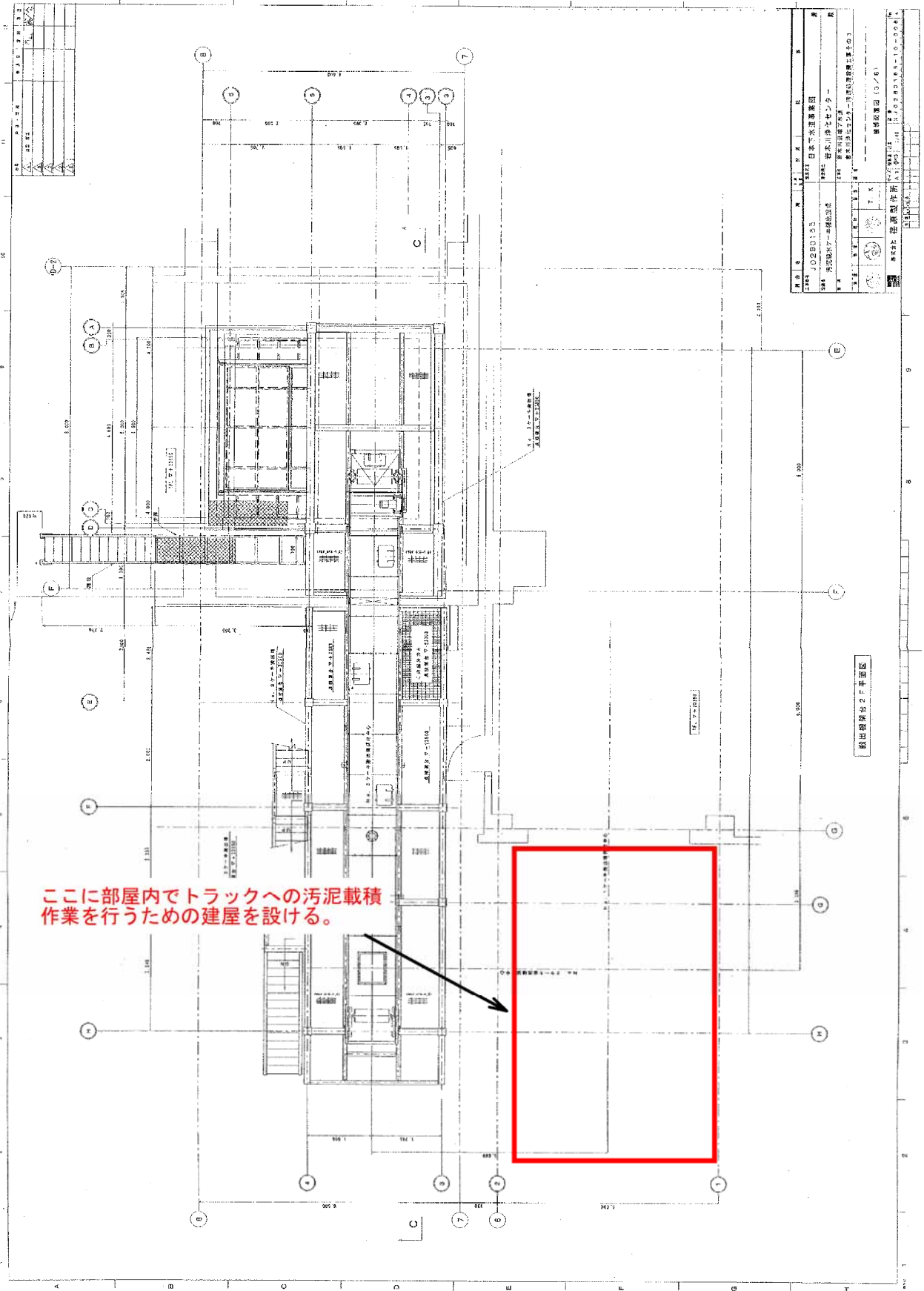
③ホッパ



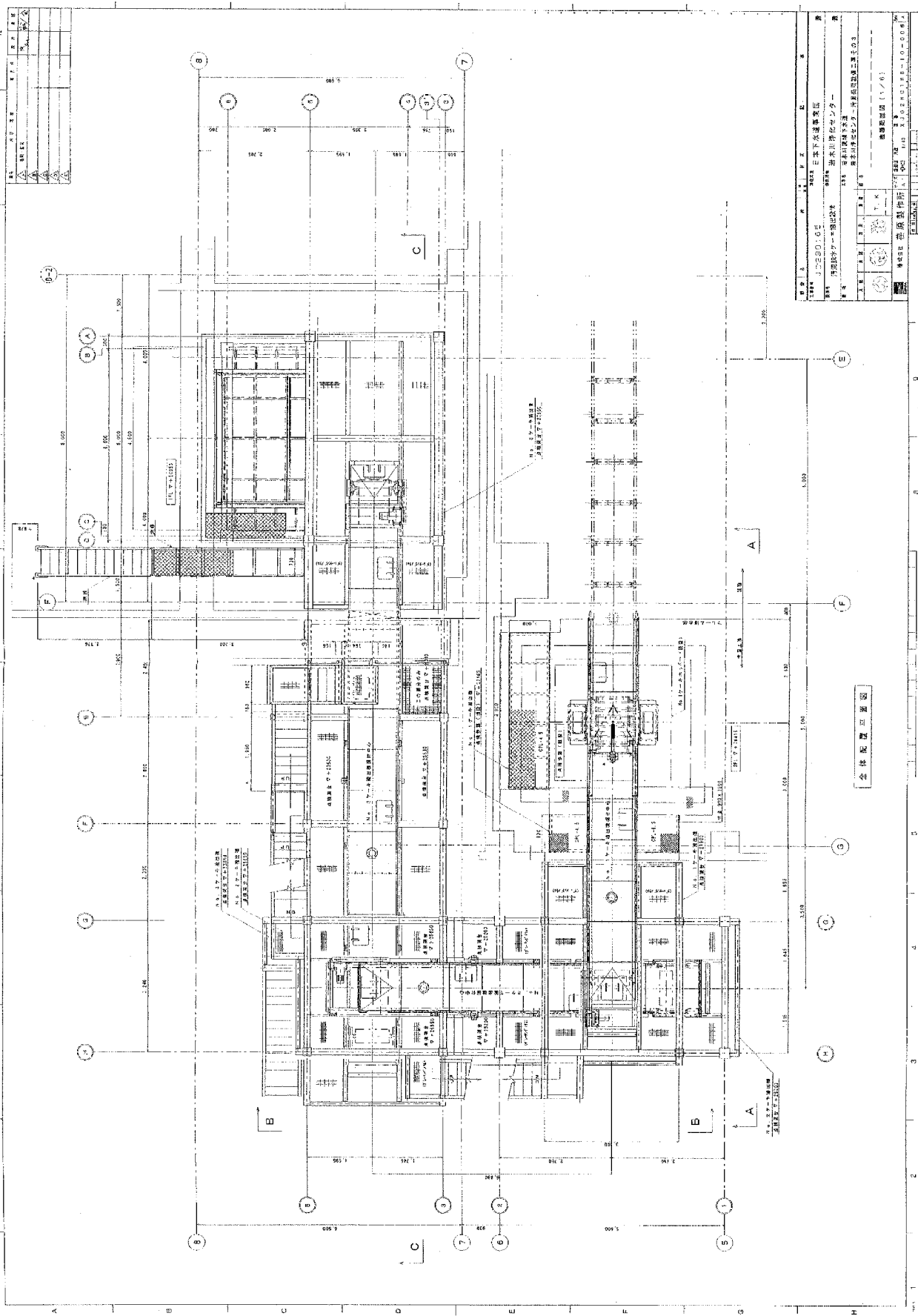
汚泥処理棟 1階平面図

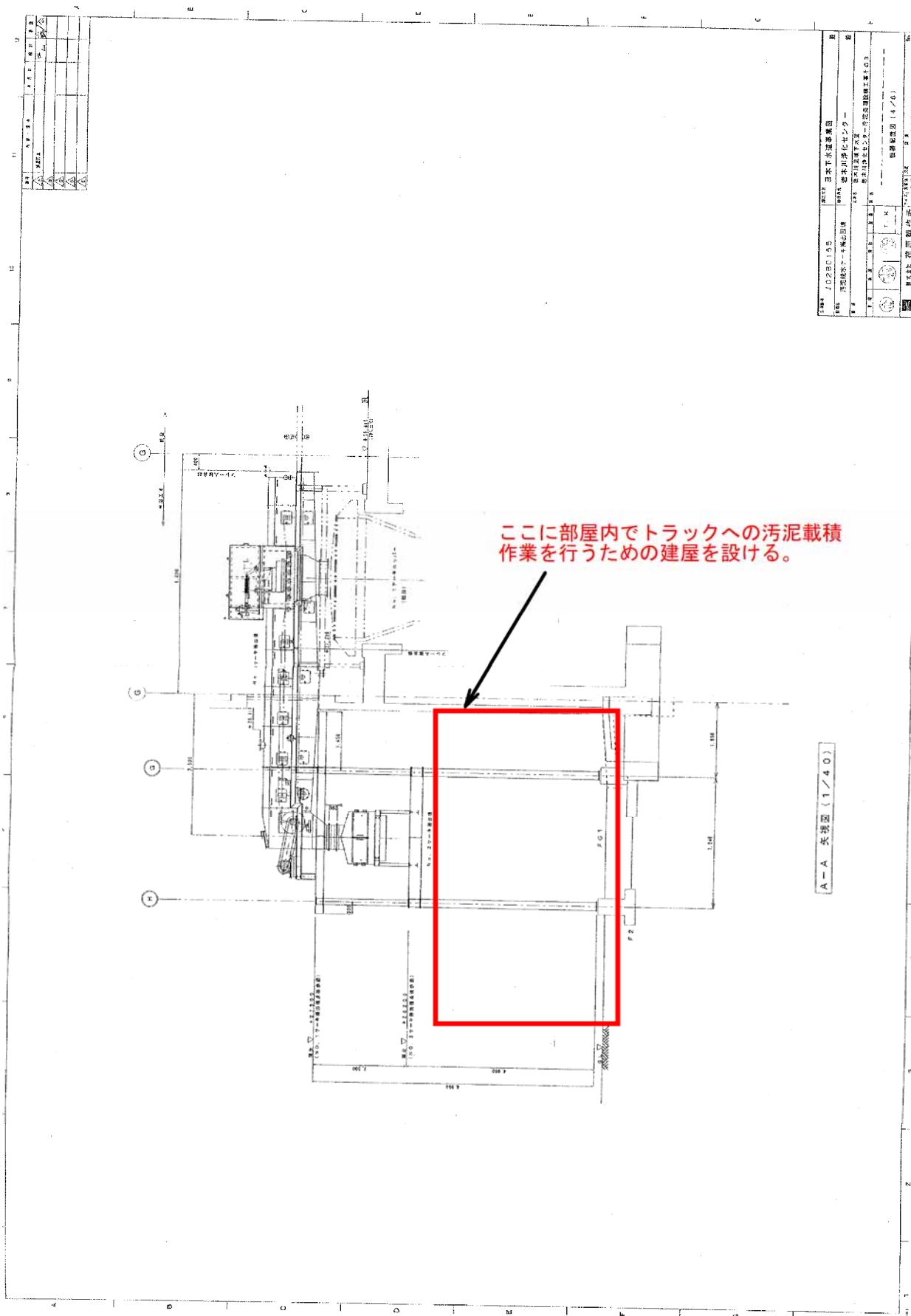


番号	記号	名称	仕様
①	VP1	汚泥貯留槽	FRP製 2000×2770
②	VP2	汚泥貯留槽	FRP製 2000×2770
③	VP3	汚泥貯留槽	FRP製 2000×2770
④	VP4	汚泥貯留槽	FRP製 2000×2770
⑤	VP5	汚泥貯留槽	FRP製 2000×2770
⑥	VP6	汚泥貯留槽	FRP製 2000×2770
⑦	VP7	汚泥貯留槽	FRP製 2000×2770
⑧	VP8	汚泥貯留槽	FRP製 2000×2770
⑨	VP9	汚泥貯留槽	FRP製 2000×2770
⑩	VP10	汚泥貯留槽	FRP製 2000×2770
⑪	VP11	汚泥貯留槽	FRP製 2000×2770
⑫	VP12	汚泥貯留槽	FRP製 2000×2770
⑬	VP13	汚泥貯留槽	FRP製 2000×2770
⑭	VP14	汚泥貯留槽	FRP製 2000×2770
⑮	VP15	汚泥貯留槽	FRP製 2000×2770
⑯	VP16	汚泥貯留槽	FRP製 2000×2770
⑰	VP17	汚泥貯留槽	FRP製 2000×2770
⑱	VP18	汚泥貯留槽	FRP製 2000×2770
⑲	VP19	汚泥貯留槽	FRP製 2000×2770
⑳	VP20	汚泥貯留槽	FRP製 2000×2770
㉑	VP21	汚泥貯留槽	FRP製 2000×2770
㉒	VP22	汚泥貯留槽	FRP製 2000×2770
㉓	VP23	汚泥貯留槽	FRP製 2000×2770
㉔	VP24	汚泥貯留槽	FRP製 2000×2770
㉕	VP25	汚泥貯留槽	FRP製 2000×2770
㉖	VP26	汚泥貯留槽	FRP製 2000×2770
㉗	VP27	汚泥貯留槽	FRP製 2000×2770
㉘	VP28	汚泥貯留槽	FRP製 2000×2770
㉙	VP29	汚泥貯留槽	FRP製 2000×2770
㉚	VP30	汚泥貯留槽	FRP製 2000×2770

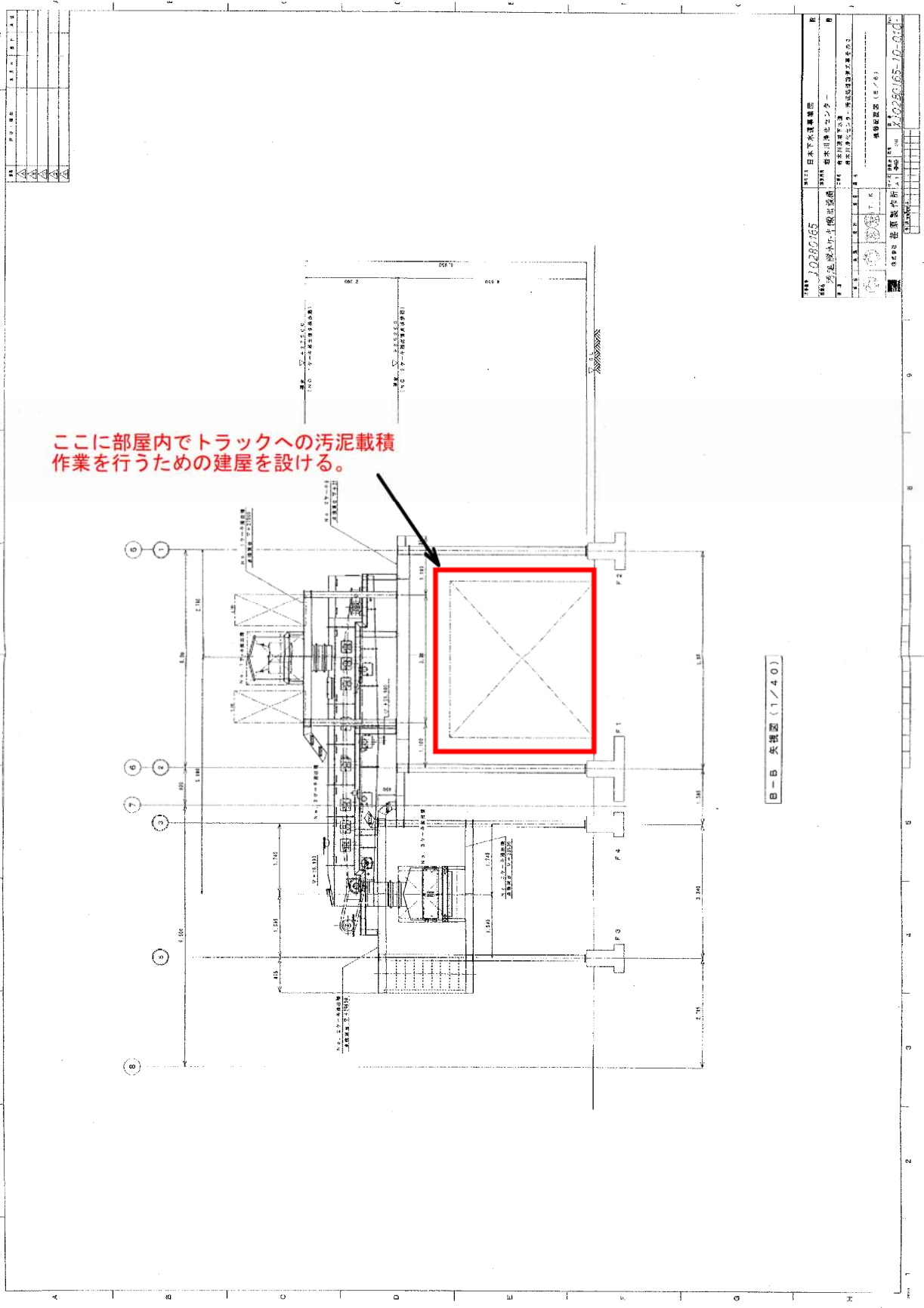


ここに部屋内でトラックへの汚泥載積作業を行うための建屋を設ける。





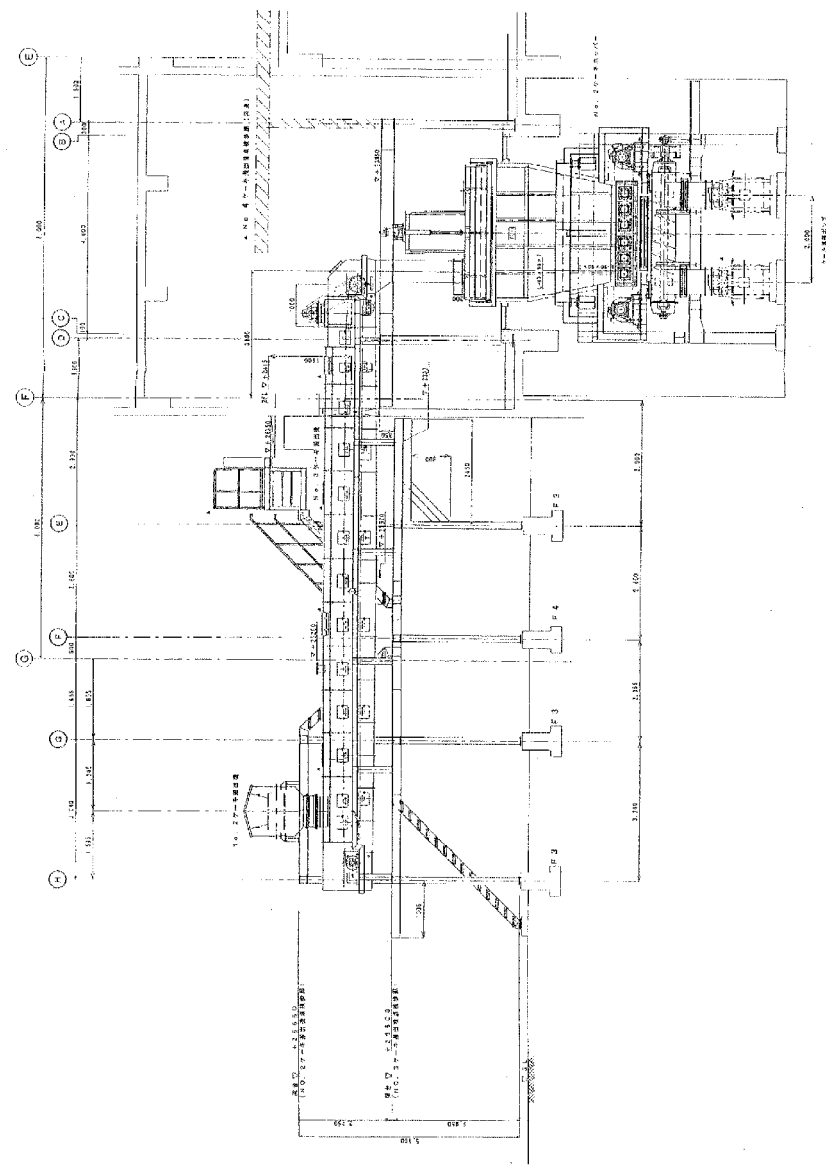
385	10280165	002	日本下水道業団	003	000
166	汚泥脱水機中心部取出機	003	建設用設備工事	000	000
167	汚泥脱水機中心部取出機	003	建設用設備工事	000	000
168	汚泥脱水機中心部取出機	003	建設用設備工事	000	000
169	汚泥脱水機中心部取出機	003	建設用設備工事	000	000
170	汚泥脱水機中心部取出機	003	建設用設備工事	000	000
171	汚泥脱水機中心部取出機	003	建設用設備工事	000	000
172	汚泥脱水機中心部取出機	003	建設用設備工事	000	000
173	汚泥脱水機中心部取出機	003	建設用設備工事	000	000
174	汚泥脱水機中心部取出機	003	建設用設備工事	000	000
175	汚泥脱水機中心部取出機	003	建設用設備工事	000	000
176	汚泥脱水機中心部取出機	003	建設用設備工事	000	000
177	汚泥脱水機中心部取出機	003	建設用設備工事	000	000
178	汚泥脱水機中心部取出機	003	建設用設備工事	000	000
179	汚泥脱水機中心部取出機	003	建設用設備工事	000	000
180	汚泥脱水機中心部取出機	003	建設用設備工事	000	000
181	汚泥脱水機中心部取出機	003	建設用設備工事	000	000
182	汚泥脱水機中心部取出機	003	建設用設備工事	000	000
183	汚泥脱水機中心部取出機	003	建設用設備工事	000	000
184	汚泥脱水機中心部取出機	003	建設用設備工事	000	000
185	汚泥脱水機中心部取出機	003	建設用設備工事	000	000
186	汚泥脱水機中心部取出機	003	建設用設備工事	000	000
187	汚泥脱水機中心部取出機	003	建設用設備工事	000	000
188	汚泥脱水機中心部取出機	003	建設用設備工事	000	000
189	汚泥脱水機中心部取出機	003	建設用設備工事	000	000
190	汚泥脱水機中心部取出機	003	建設用設備工事	000	000
191	汚泥脱水機中心部取出機	003	建設用設備工事	000	000
192	汚泥脱水機中心部取出機	003	建設用設備工事	000	000
193	汚泥脱水機中心部取出機	003	建設用設備工事	000	000
194	汚泥脱水機中心部取出機	003	建設用設備工事	000	000
195	汚泥脱水機中心部取出機	003	建設用設備工事	000	000
196	汚泥脱水機中心部取出機	003	建設用設備工事	000	000
197	汚泥脱水機中心部取出機	003	建設用設備工事	000	000
198	汚泥脱水機中心部取出機	003	建設用設備工事	000	000
199	汚泥脱水機中心部取出機	003	建設用設備工事	000	000
200	汚泥脱水機中心部取出機	003	建設用設備工事	000	000



ここに部屋内でトラックへの汚泥載積
作業を行うための建屋を設ける。

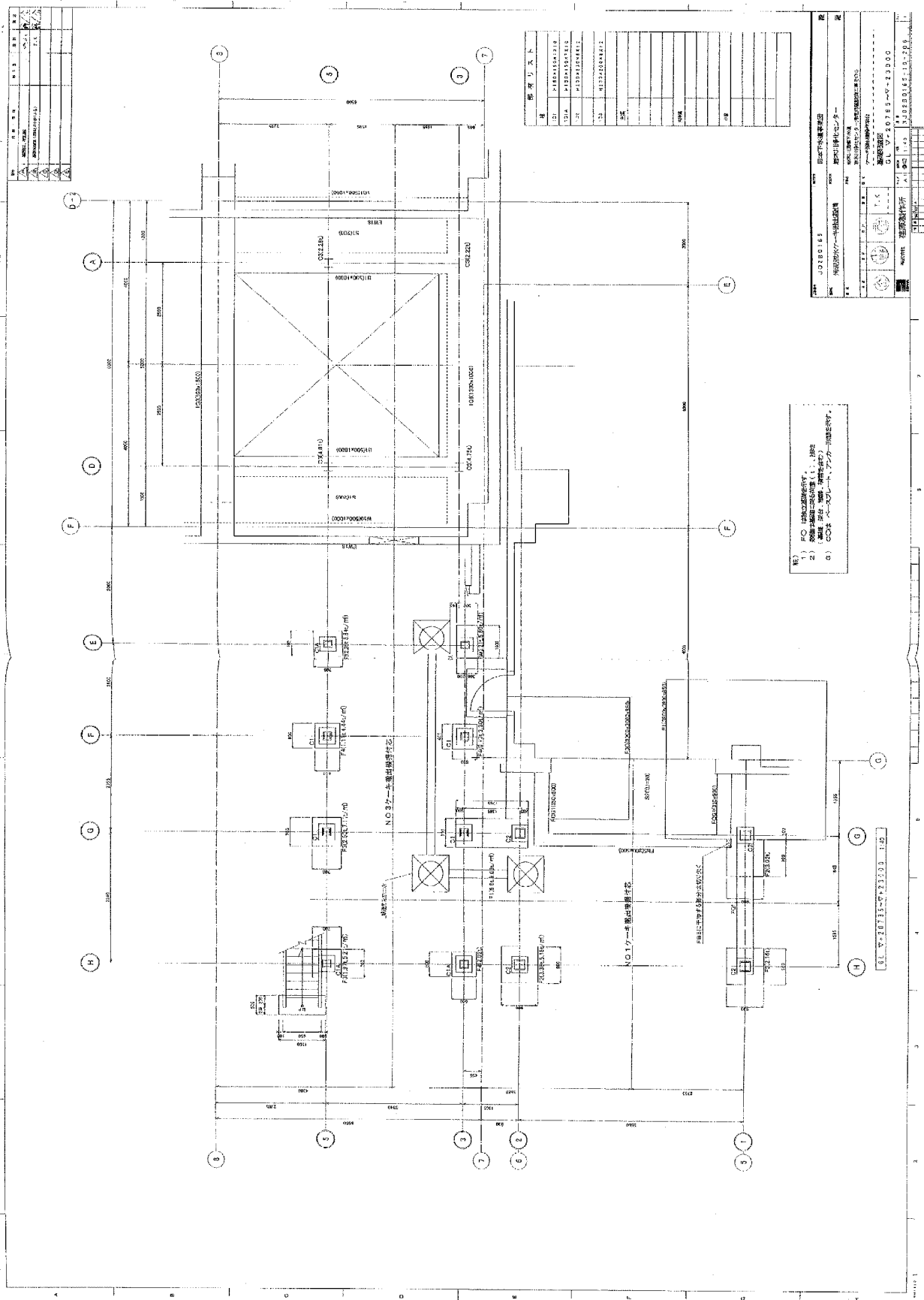
図-B 矢視図 (1/40)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----



C-C 矢线图 (1/40)

图号	JCR20105	图名	日本平外機集研
设计	丹羽隆夫	审核	横山隆夫
制图	丹羽隆夫	校对	丹羽隆夫
日期	昭和30年11月	比例	1/40
材料	铸铁	重量	15.6kg
用途	试验用	备注	

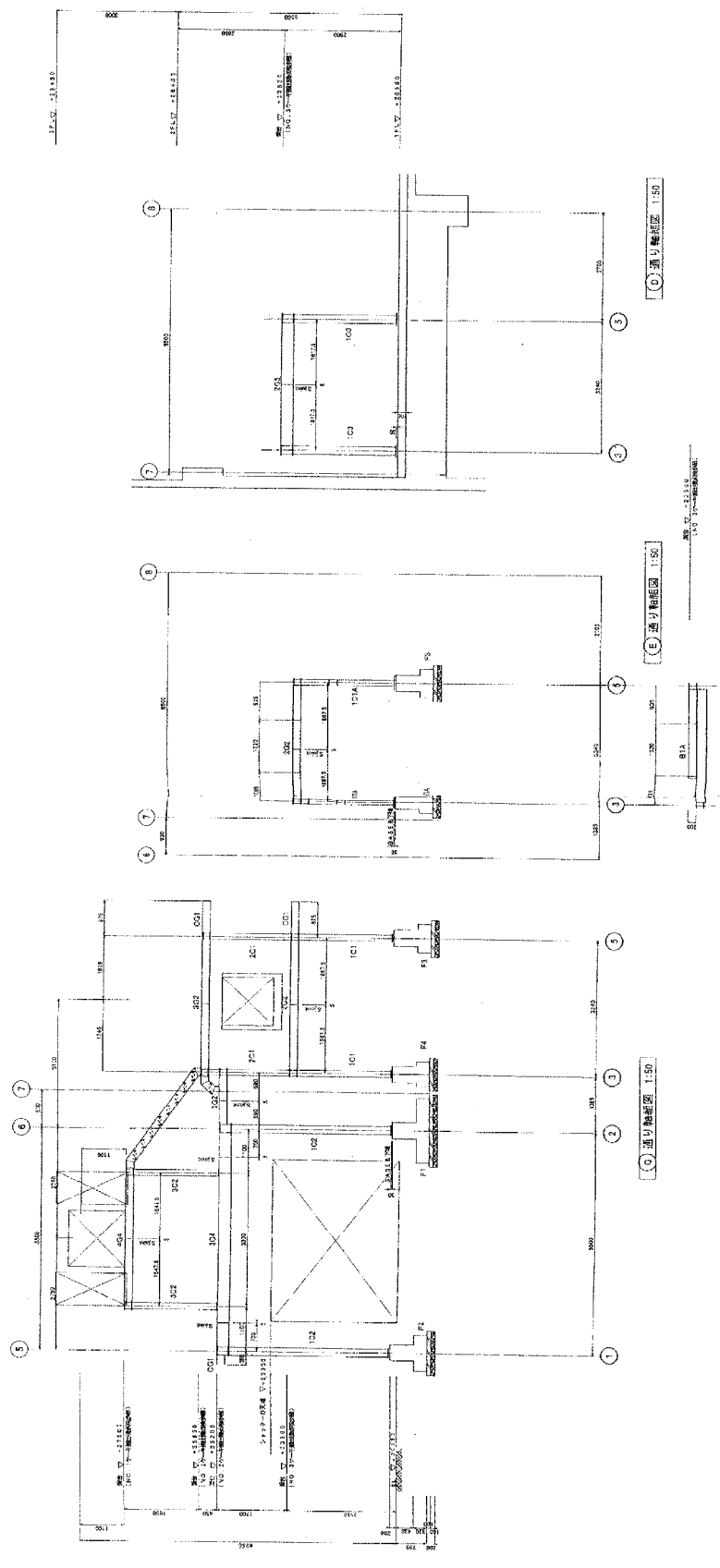


- 1) FC 炉内循環ポンプ
 2) 炉内循環ポンプ駆動機
 3) CO2 吸収装置

設備名	仕様
1	FC 炉内循環ポンプ
2	炉内循環ポンプ駆動機
3	CO2 吸収装置
4	
5	
6	
7	
8	
9	

設計者: 〇〇〇〇
 校核者: 〇〇〇〇
 承認者: 〇〇〇〇
 発行日: 〇〇/〇〇/〇〇
 図名: 〇〇〇〇
 図号: 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇
 縮尺: 1:〇〇
 枚数: 〇/〇

NO.	内容	作成	承認
1	基礎	〇〇〇	〇〇〇
2	柱・梁	〇〇〇	〇〇〇
3	床	〇〇〇	〇〇〇
4	壁	〇〇〇	〇〇〇
5	天井	〇〇〇	〇〇〇
6	設備	〇〇〇	〇〇〇
7	外装	〇〇〇	〇〇〇
8	内装	〇〇〇	〇〇〇



NO.	内容	作成	承認
1	基礎	〇〇〇	〇〇〇
2	柱・梁	〇〇〇	〇〇〇
3	床	〇〇〇	〇〇〇
4	壁	〇〇〇	〇〇〇
5	天井	〇〇〇	〇〇〇
6	設備	〇〇〇	〇〇〇
7	外装	〇〇〇	〇〇〇
8	内装	〇〇〇	〇〇〇

別紙 4 二次処理水接続箇所

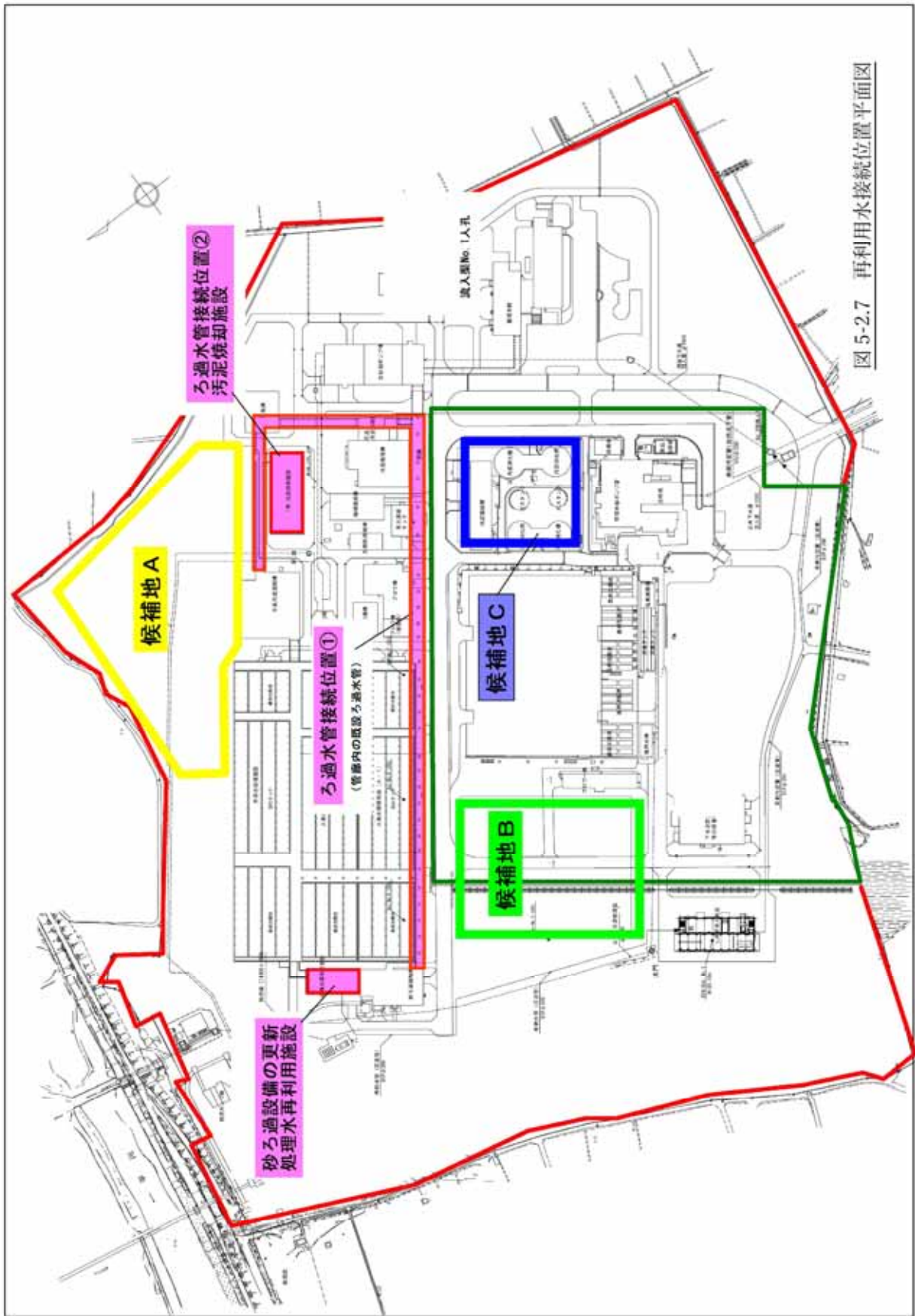


図 5-2.7 再利用水接続位置平面図

8 7 6 5 4 3 2 1 A B C D E F

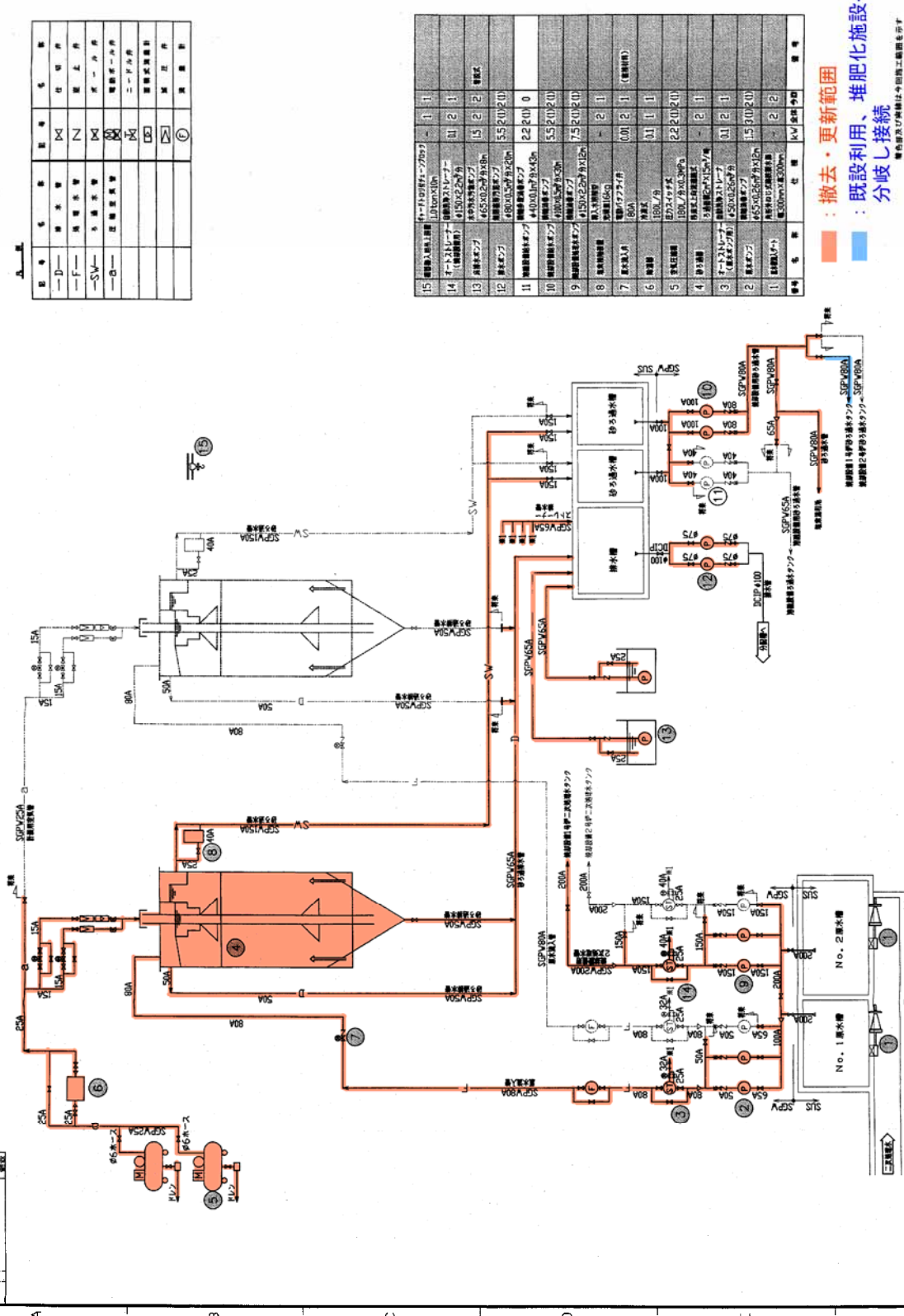


表 1

記号	名称	仕様	備考
D	排水ポンプ	1.5kW	設置
F	排水ポンプ	1.5kW	設置
SV	排水ポンプ	1.5kW	設置
B	排水ポンプ	1.5kW	設置
10	排水ポンプ	1.5kW	設置
11	排水ポンプ	1.5kW	設置
12	排水ポンプ	1.5kW	設置
13	排水ポンプ	1.5kW	設置
14	排水ポンプ	1.5kW	設置
15	排水ポンプ	1.5kW	設置

番号	名称	仕様	備考
15	排水ポンプ	1.5kW	設置
14	排水ポンプ	1.5kW	設置
13	排水ポンプ	1.5kW	設置
12	排水ポンプ	1.5kW	設置
11	排水ポンプ	1.5kW	設置
10	排水ポンプ	1.5kW	設置
9	排水ポンプ	1.5kW	設置
8	排水ポンプ	1.5kW	設置
7	排水ポンプ	1.5kW	設置
6	排水ポンプ	1.5kW	設置
5	排水ポンプ	1.5kW	設置
4	排水ポンプ	1.5kW	設置
3	排水ポンプ	1.5kW	設置
2	排水ポンプ	1.5kW	設置
1	排水ポンプ	1.5kW	設置

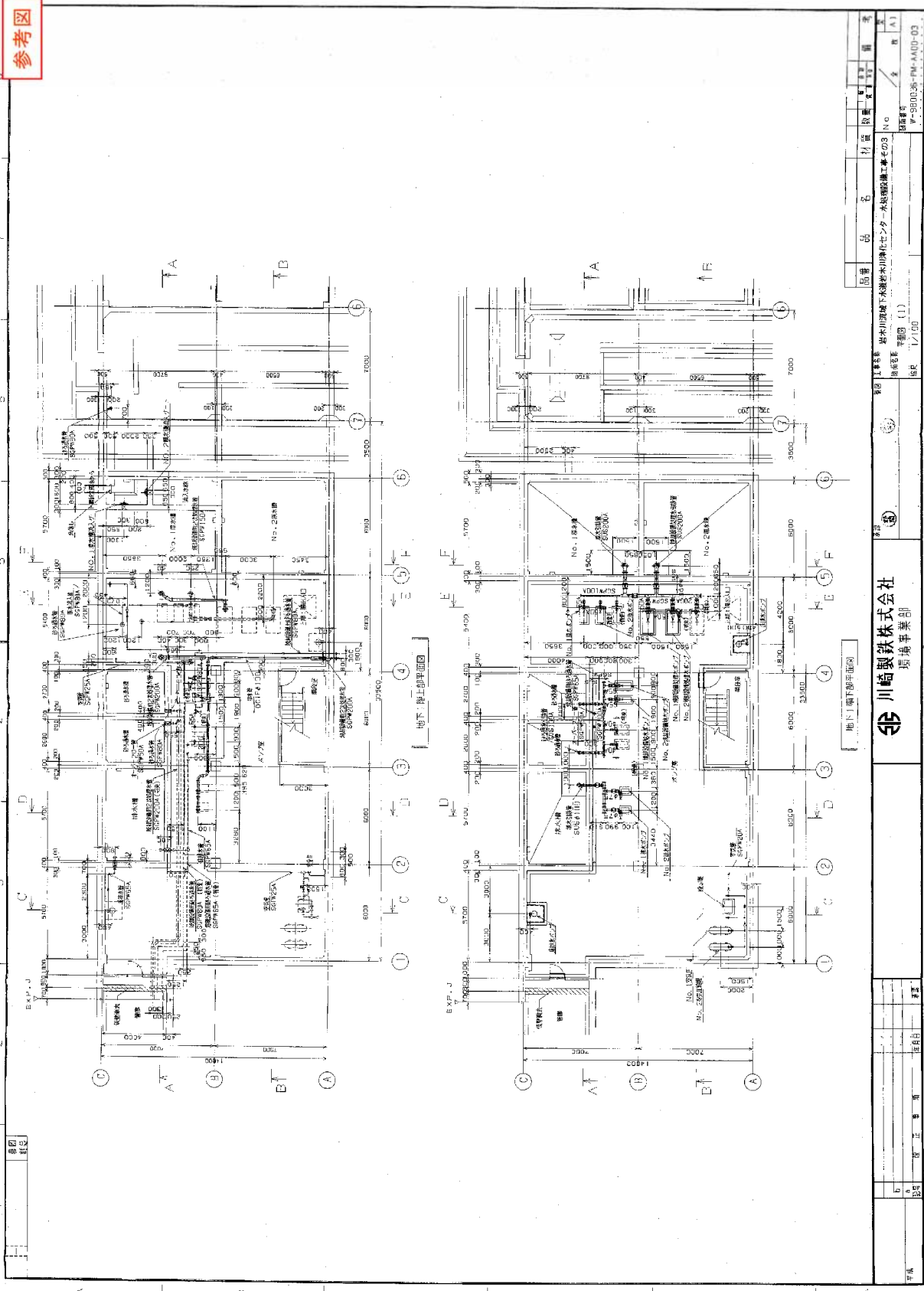
■ : 撤去・更新範囲
■ : 既設利用、堆肥化施設へ分岐し接続

川崎製鉄株式会社
 環境事業部

図名: 排水ポンプ制御盤配線図
 図号: V-980036-PM-AA00-02
 日付: 2001年 9月

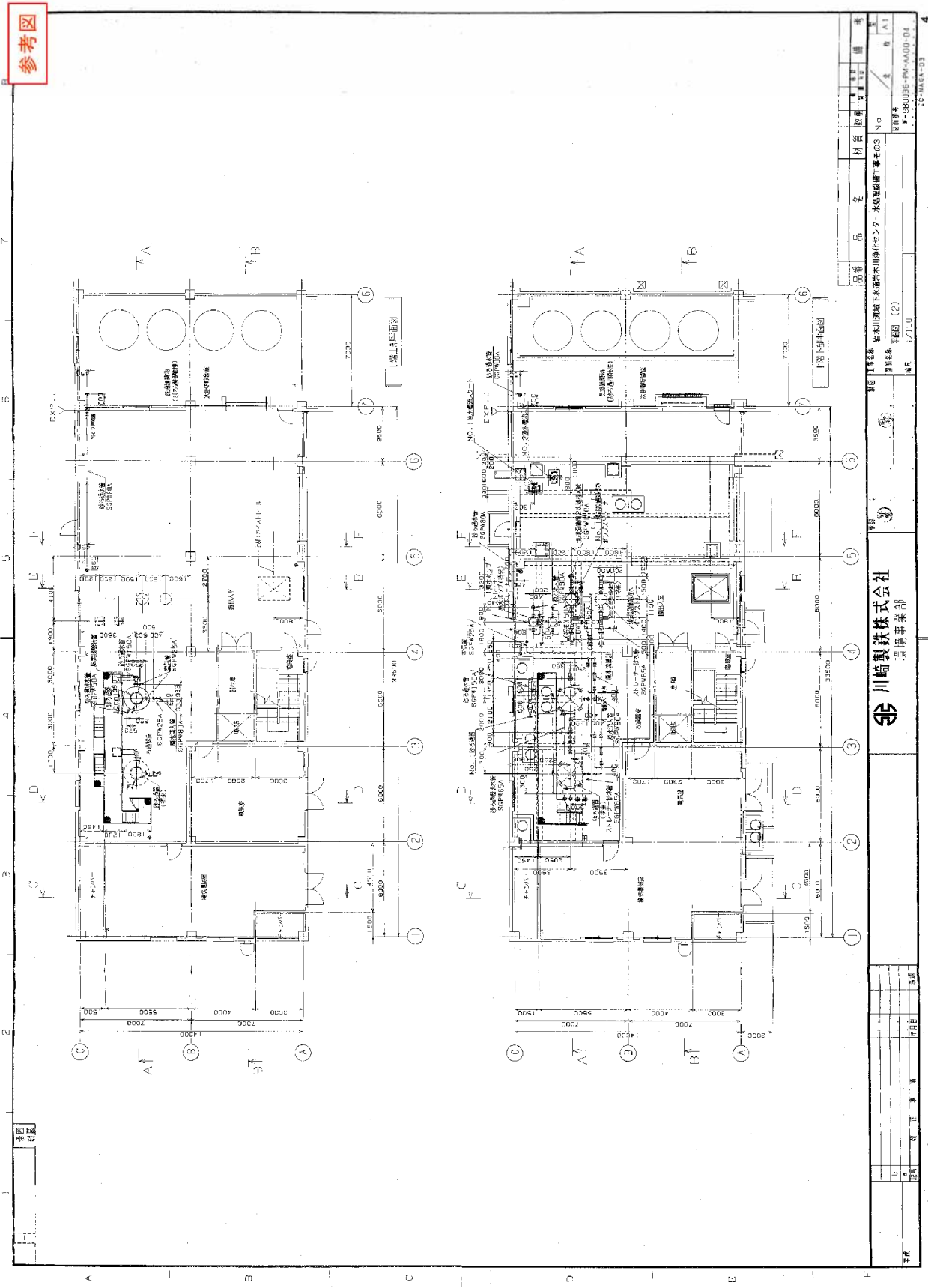
設計: 〇〇〇
 確認: 〇〇〇

砂ろ過設備の更新処理水再利用施設図面 (1 / 3)



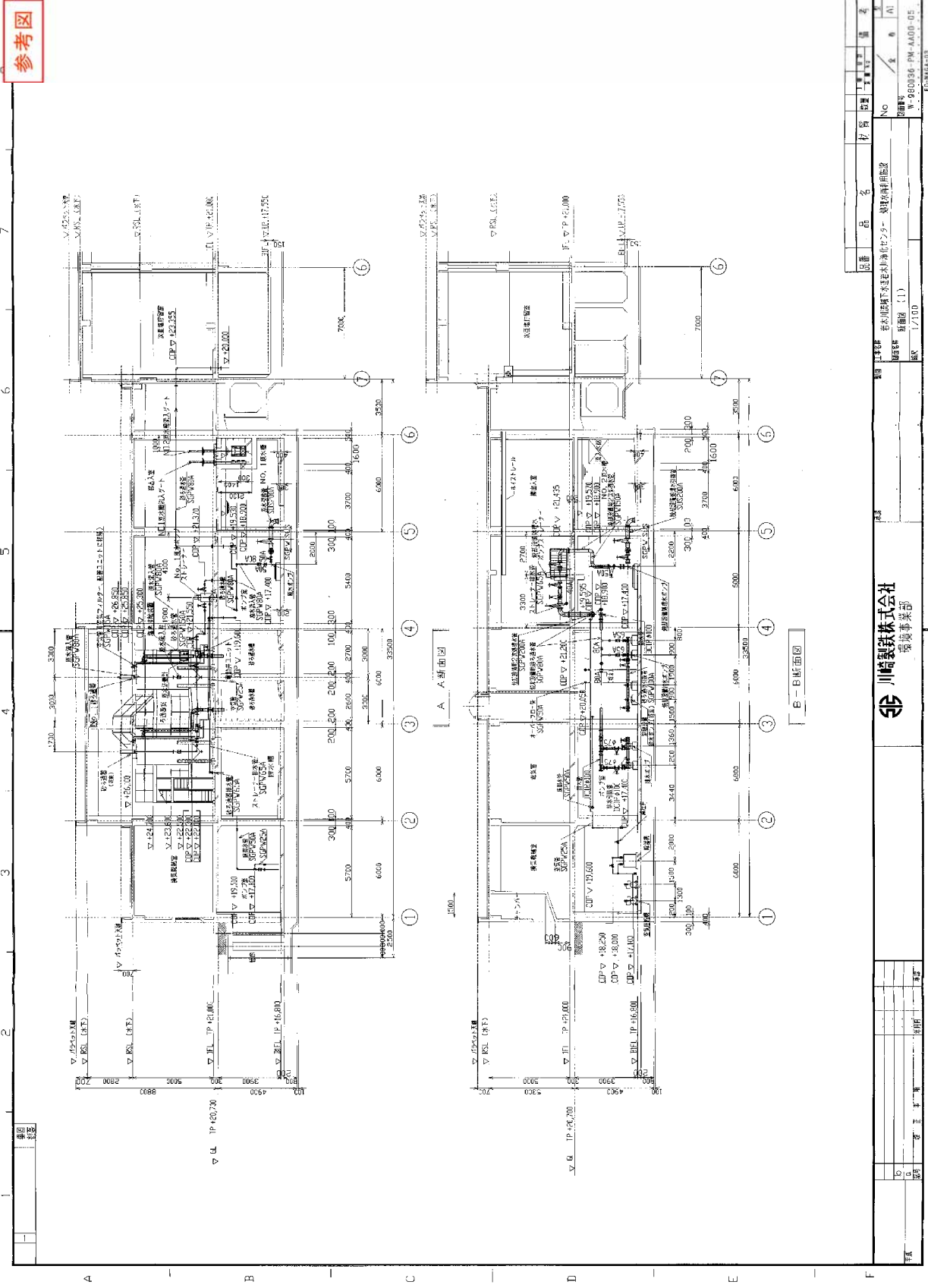
<p>品名 品名 材質 数量 単位 備考</p>	
<p>製品 川崎製鉄株式会社 岩木川流域下水道処理センター 水処理設備工事その3</p>	
<p>図面番号 W-980035-PM-AND-03</p>	
<p>図面名称 更新設備 平面図 (1)</p>	
<p>縮尺 1/100</p>	
<p>EP-NH-003</p>	
<p>川崎製鉄株式会社 環境事業部</p>	
<p>年月</p>	<p>日</p>
<p>設計</p>	<p>校核</p>
<p>監理</p>	<p>承認</p>

砂ろ過設備の更新処理水再利用施設図面 (2 / 3)

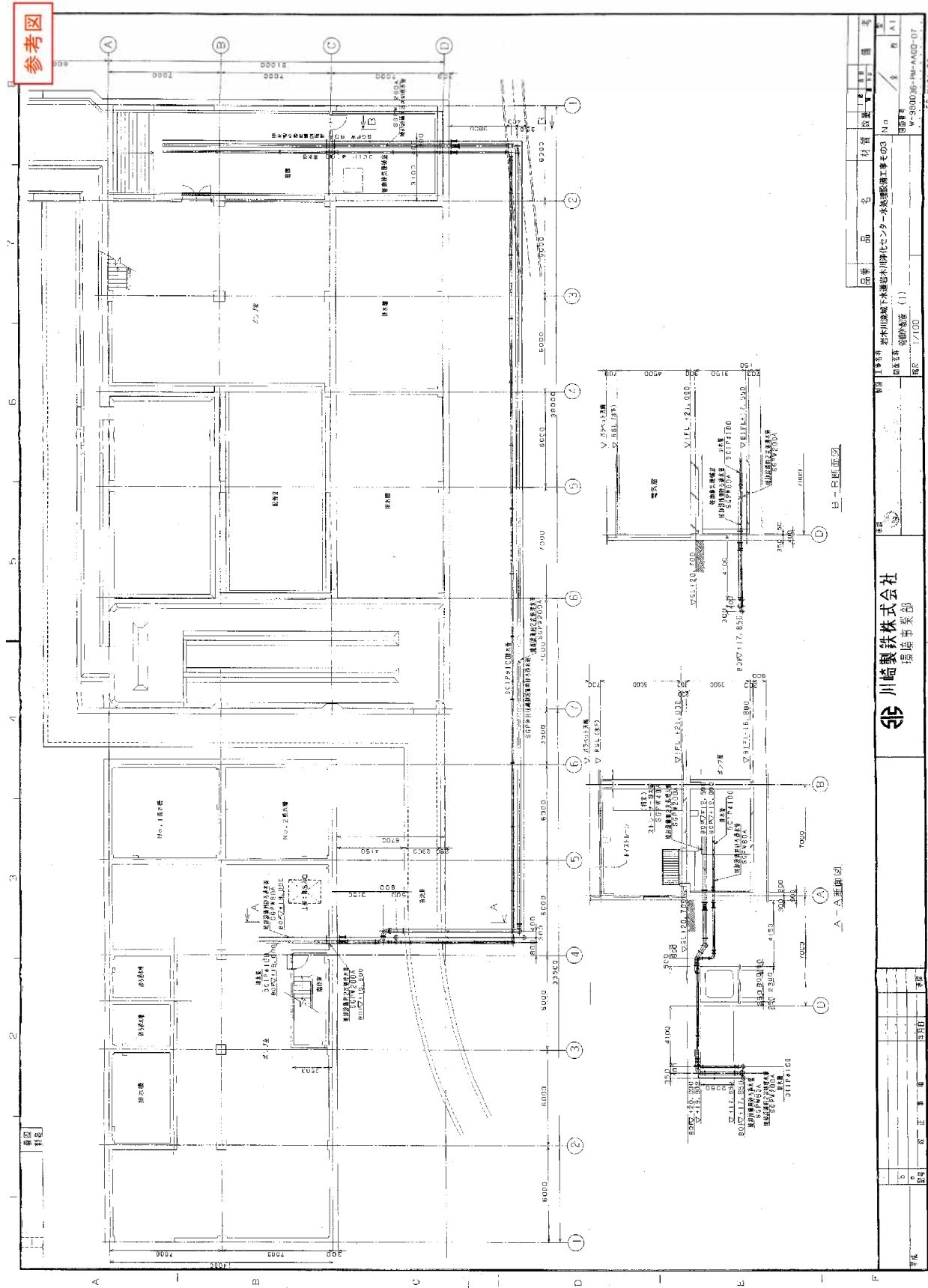


図名	砂ろ過設備の更新処理水再利用施設図面 (2)
図番	1/100
製図者	川崎製鉄株式会社 環境事業部
承認者	
材料	
数量	
規格	
標準	
備考	
製図	
検査	
承認	
年月日	
工程	
1	
2	
3	
4	

砂ろ過設備の更新処理水再利用施設図面 (3 / 3)



3 過水管接続位置 図面 (1 / 6)



品名	品名	材質	数量	単位	備考
1	鋼管	SS400	10.00	m	
2	鋼管	SS400	5.00	m	
3	鋼管	SS400	3.00	m	
4	鋼管	SS400	2.00	m	
5	鋼管	SS400	1.50	m	
6	鋼管	SS400	1.00	m	
7	鋼管	SS400	0.50	m	

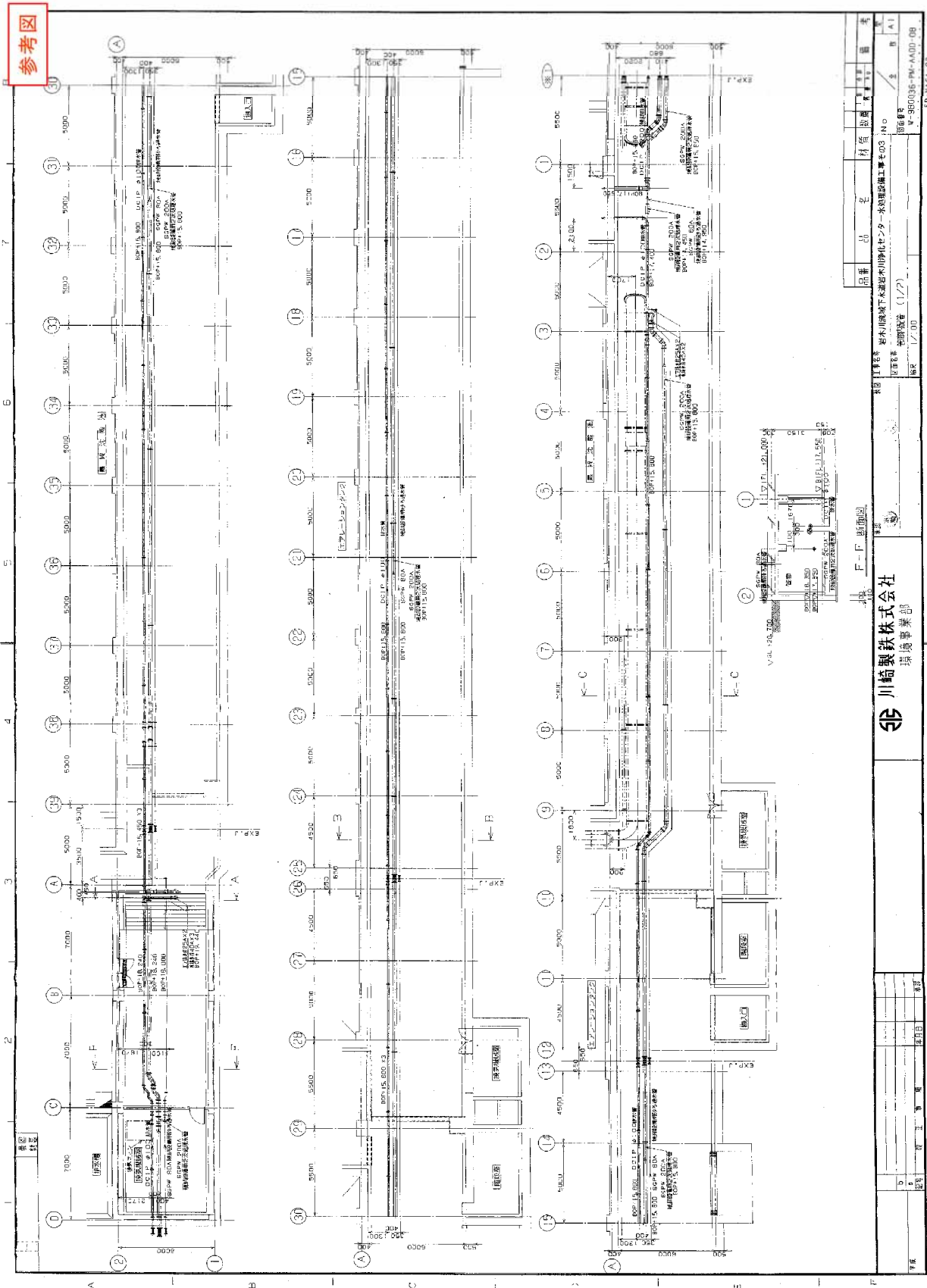
川崎製鉄株式会社
環境事業部

川崎製鉄株式会社
環境事業部

川崎製鉄株式会社
環境事業部

川崎製鉄株式会社
環境事業部

3 過水管接続位置 図面 (2 / 6)

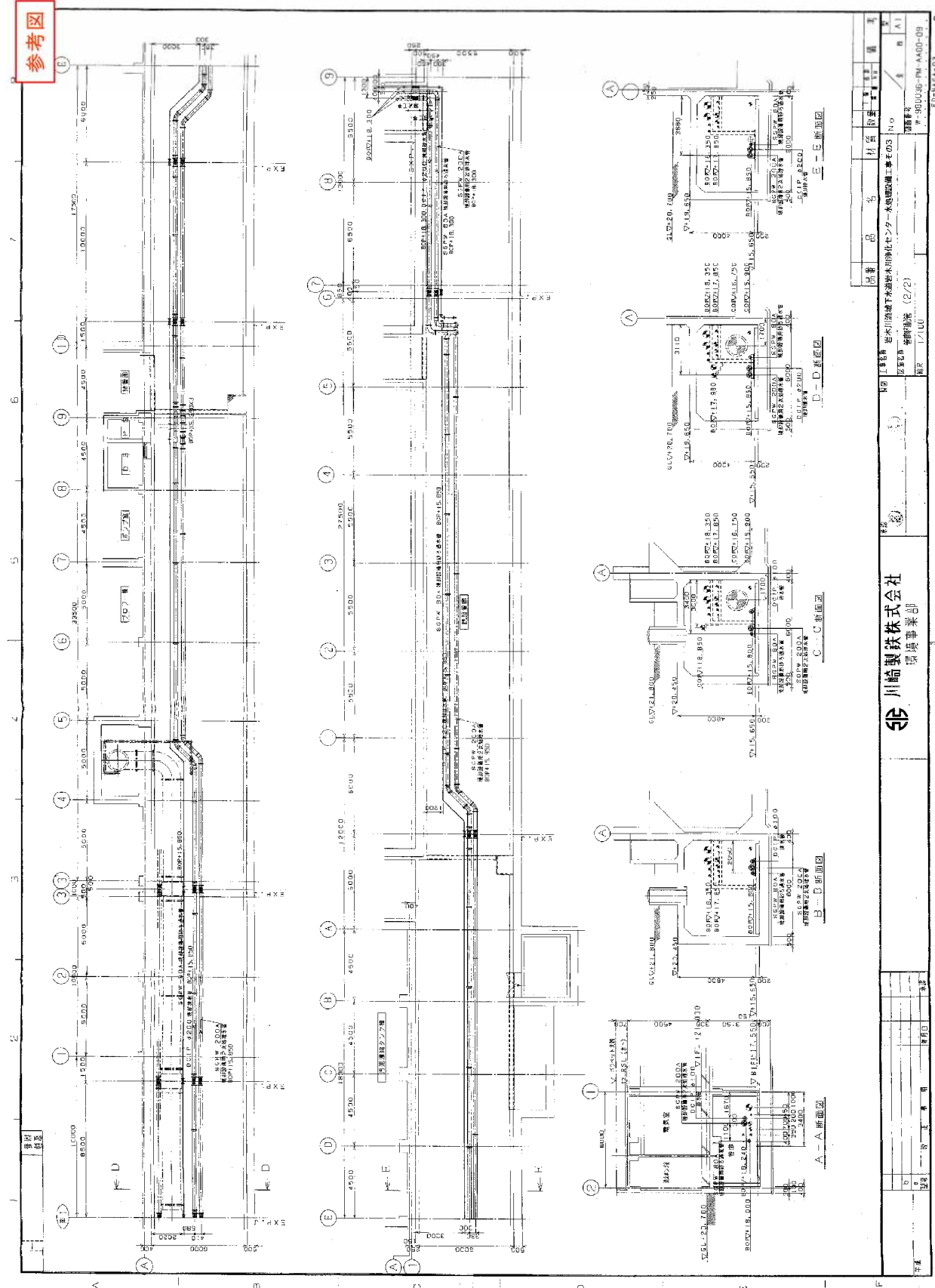


品名	材料	仕様	数量	単位	備考
1	鋼製	φ100	1	本	
2	鋼製	φ150	1	本	
3	鋼製	φ200	1	本	

川崎製鉄株式会社
 環境事業部
 製品部
 品名
 材料
 仕様
 数量
 単位
 備考

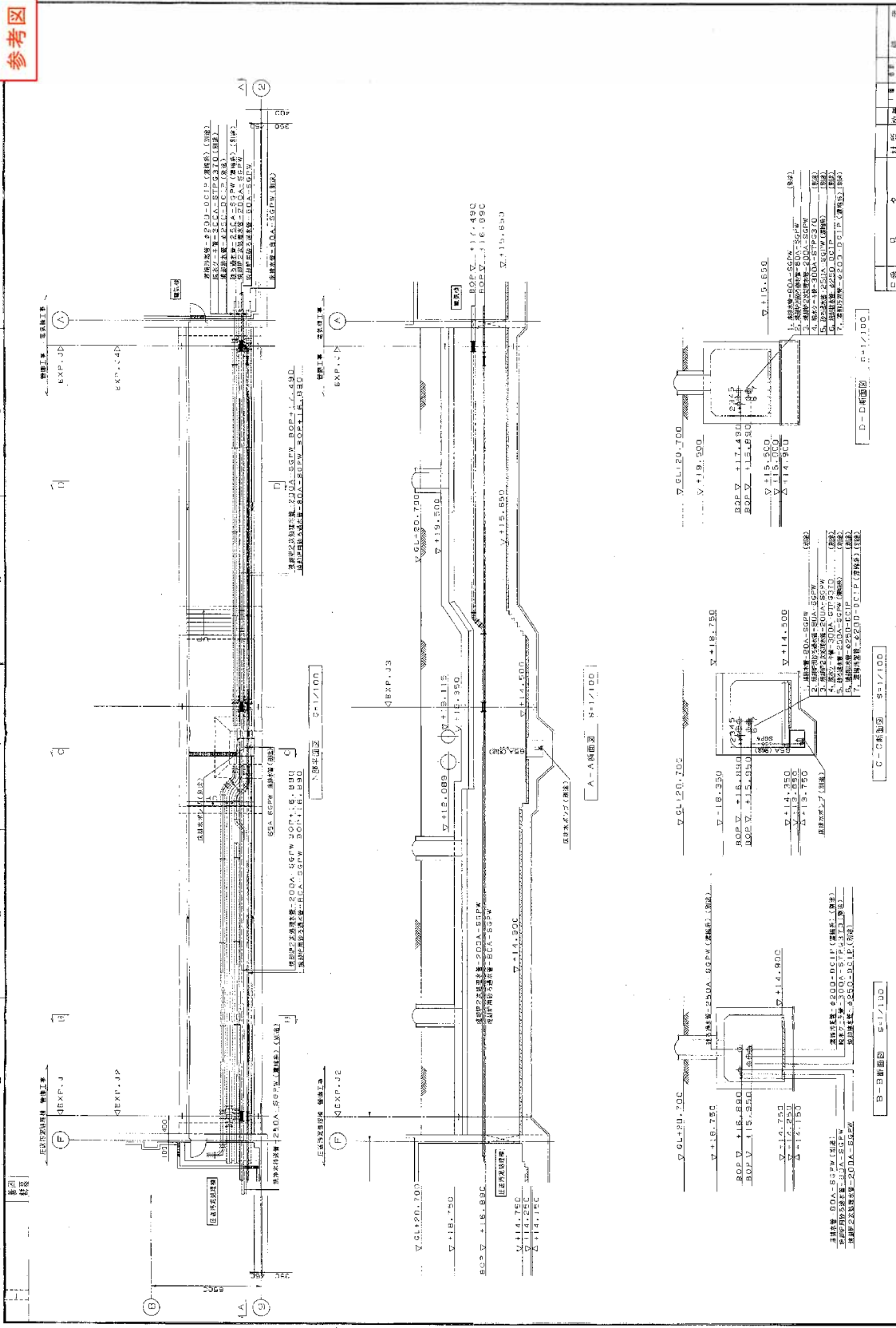
現場番号
 W-980036-PM-AADD-08
 図面番号
 (1/2)
 発行
 1/7/00
 ED-NAGA-03
 8

3 過水管接続位置 図面 (3 / 6)



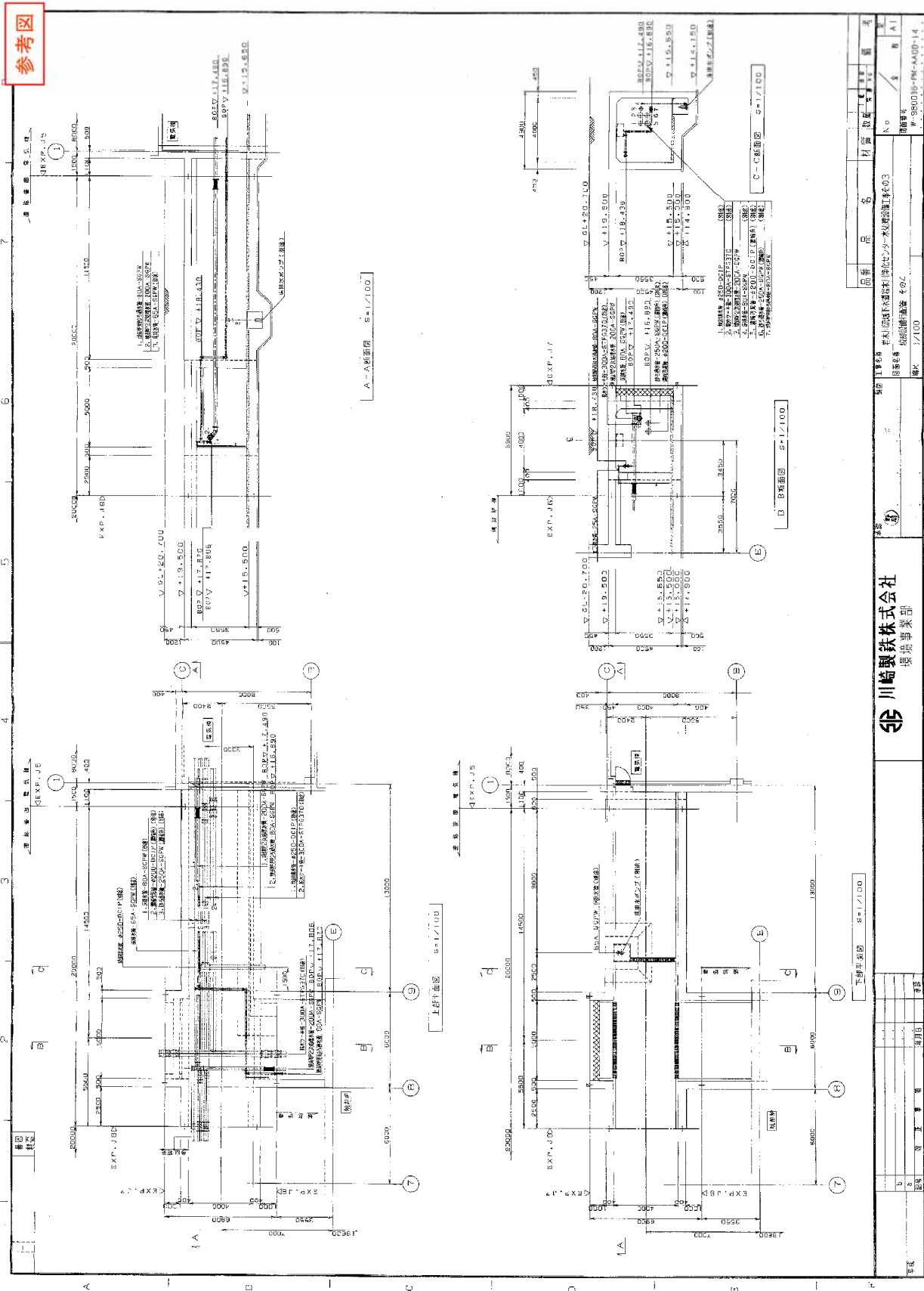
3 過水管接続位置 図面 (5 / 6)

参考図



川崎製鉄株式会社 環境事業部		図面番号 K-900038-PW-AADP-12	
材料品番 5		図面No 12	
材料品番 5		図面No 12	
材料品番 5		図面No 12	
材料品番 5		図面No 12	

3 過水管接続位置 図面 (1 / 1)



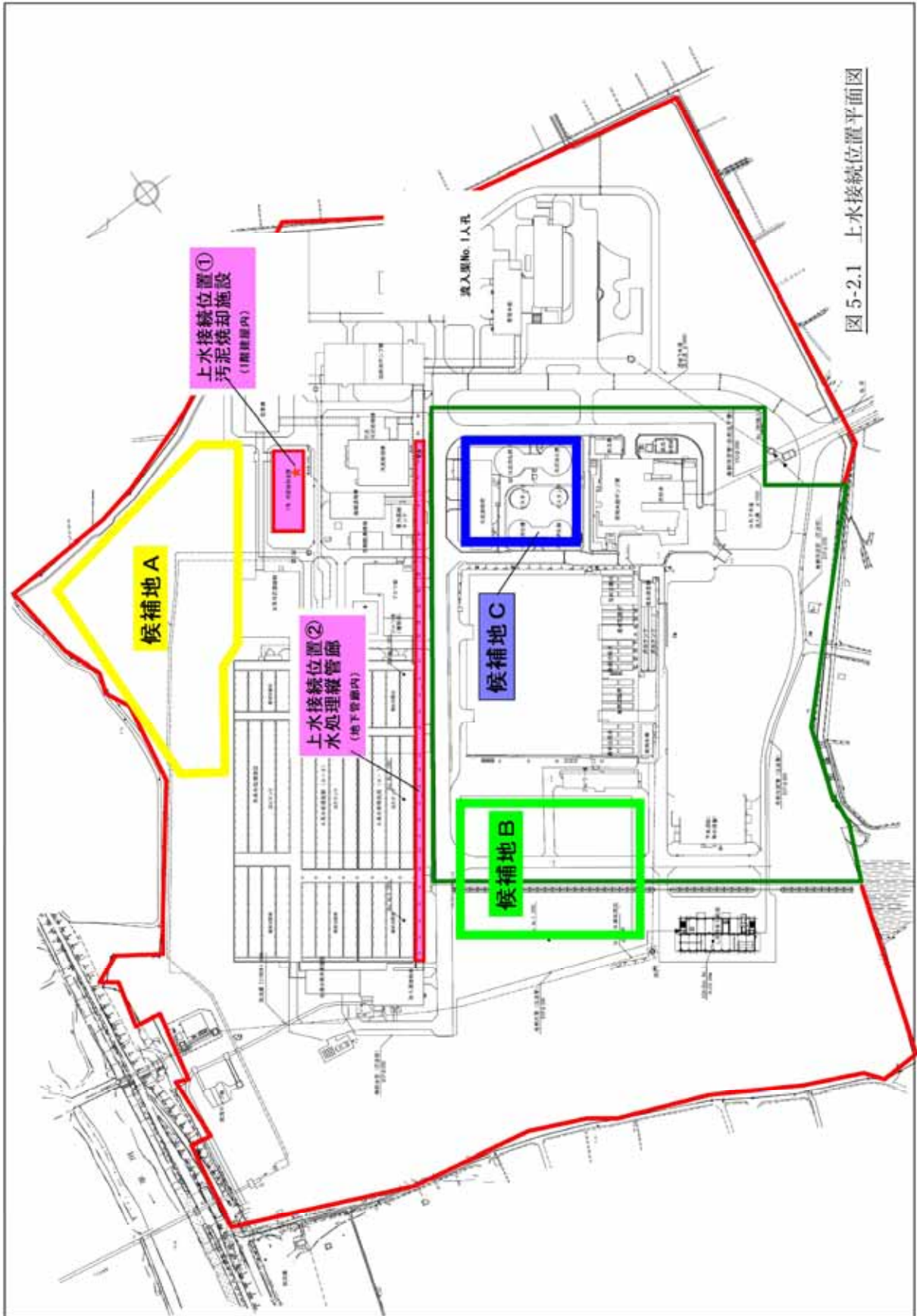
参考図

品名	品番	数量	単位	備注
パイプ	100	1	本	
バルブ	100	1	個	
継手	100	1	個	
フック	100	1	個	
その他				

川崎製鉄株式会社
環境事業部

図名: 3 過水管接続位置 図面 (1 / 1)
図番: W-980016-FK-AUD-14
縮尺: 1/100
製図: 藤田 隆夫
校核: 藤田 隆夫
承認: 藤田 隆夫

別紙 5 上水接続箇所



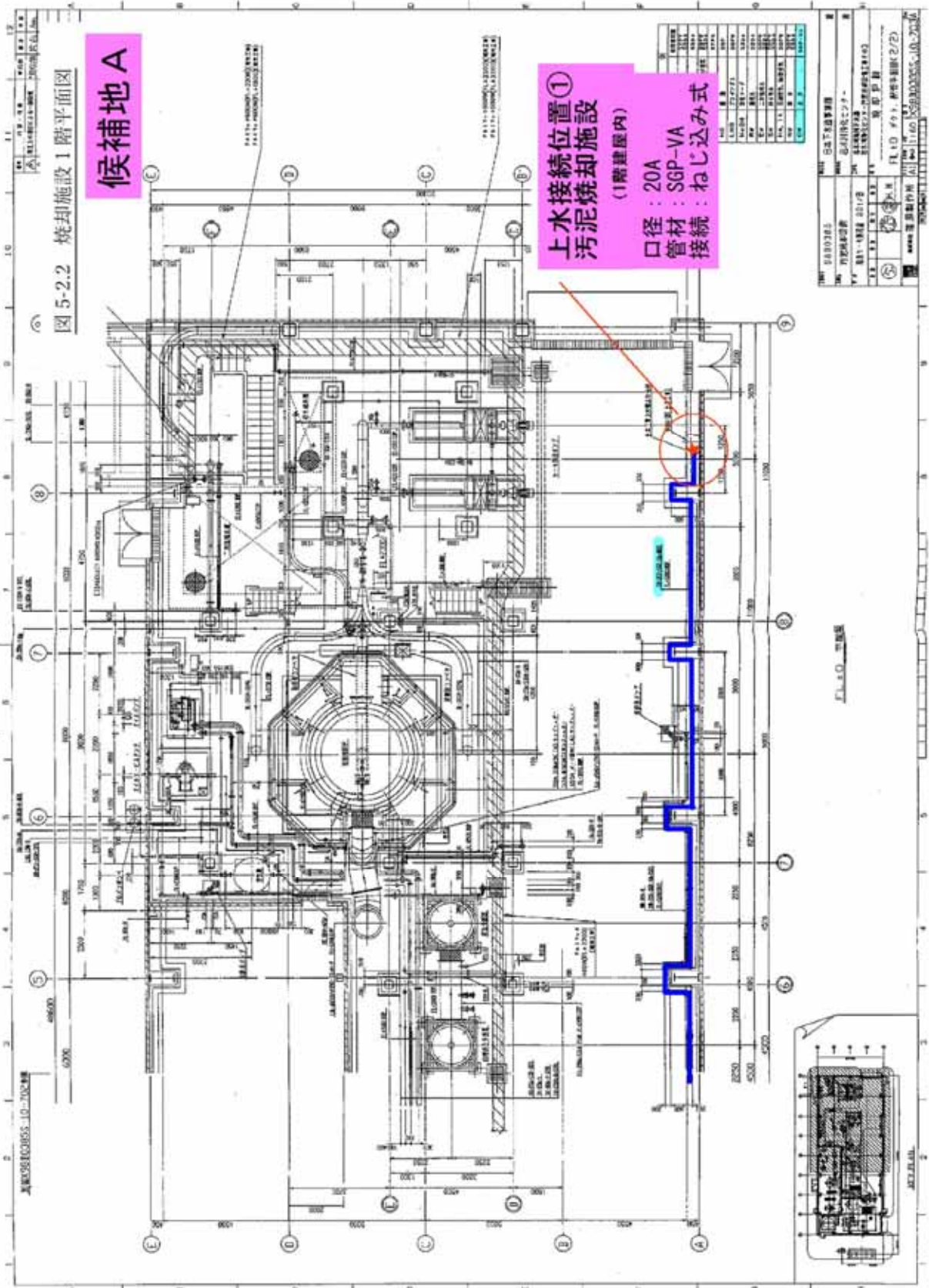
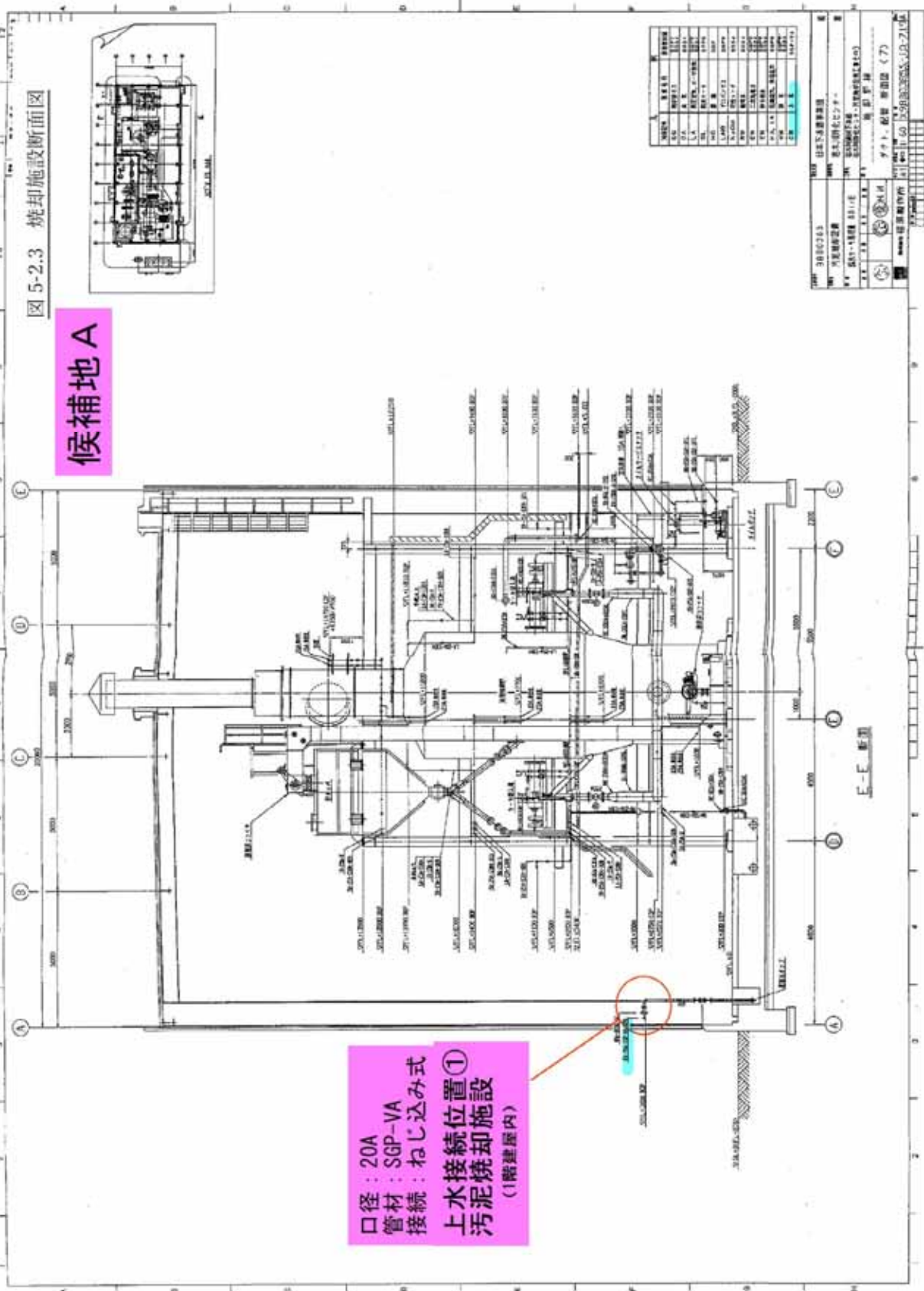


图 5-2.2 烧却施設 1 階平面图

図 5-2.3 焼却施設断面図

候補地 A



口径：20A
 管材：SGP-VA
 接続：ねじ込み式
 上水接続位置①
 汚泥焼却施設
 (1階建屋内)

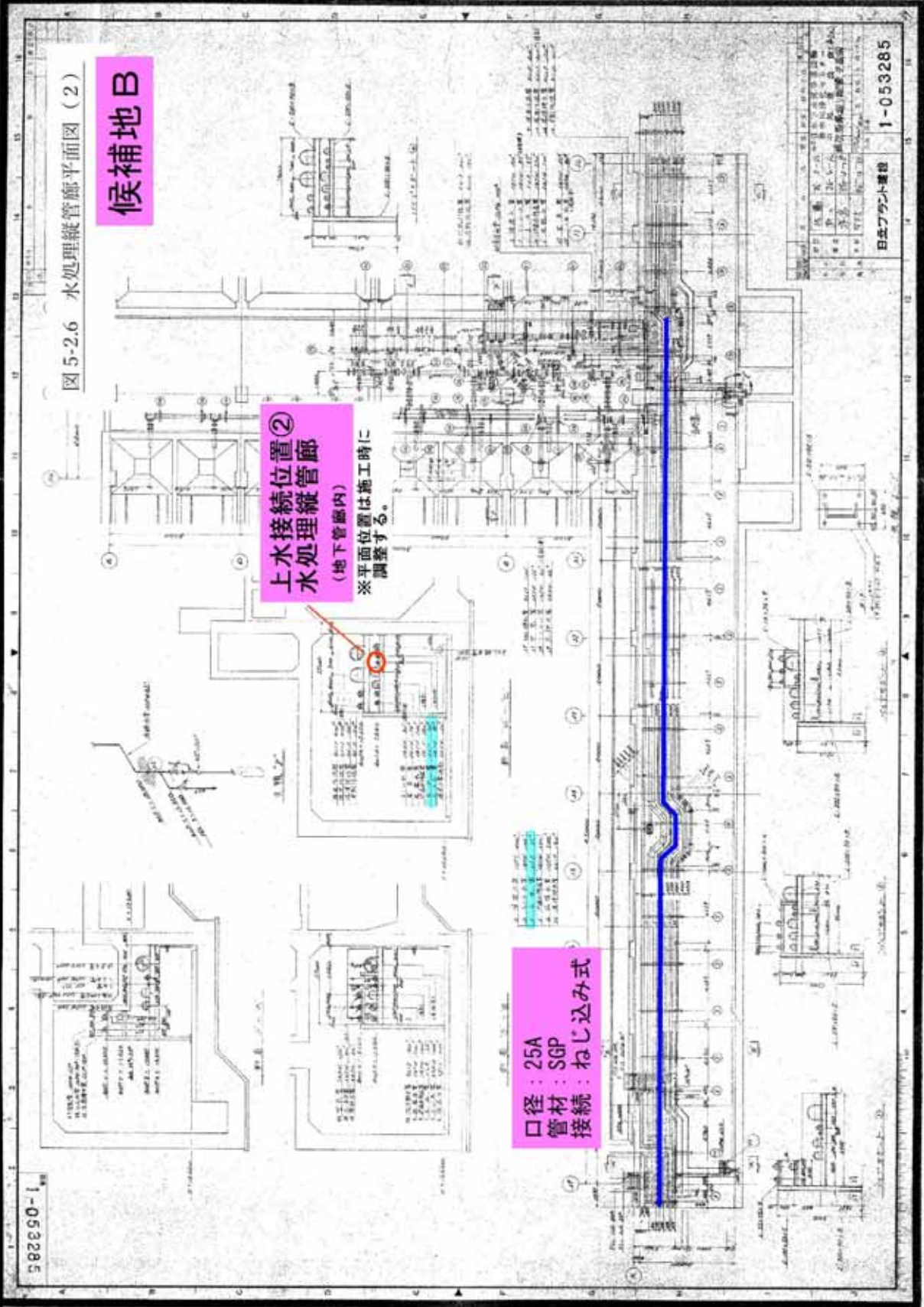


図 5-2.6 水処理縦管廊平面図 (2)

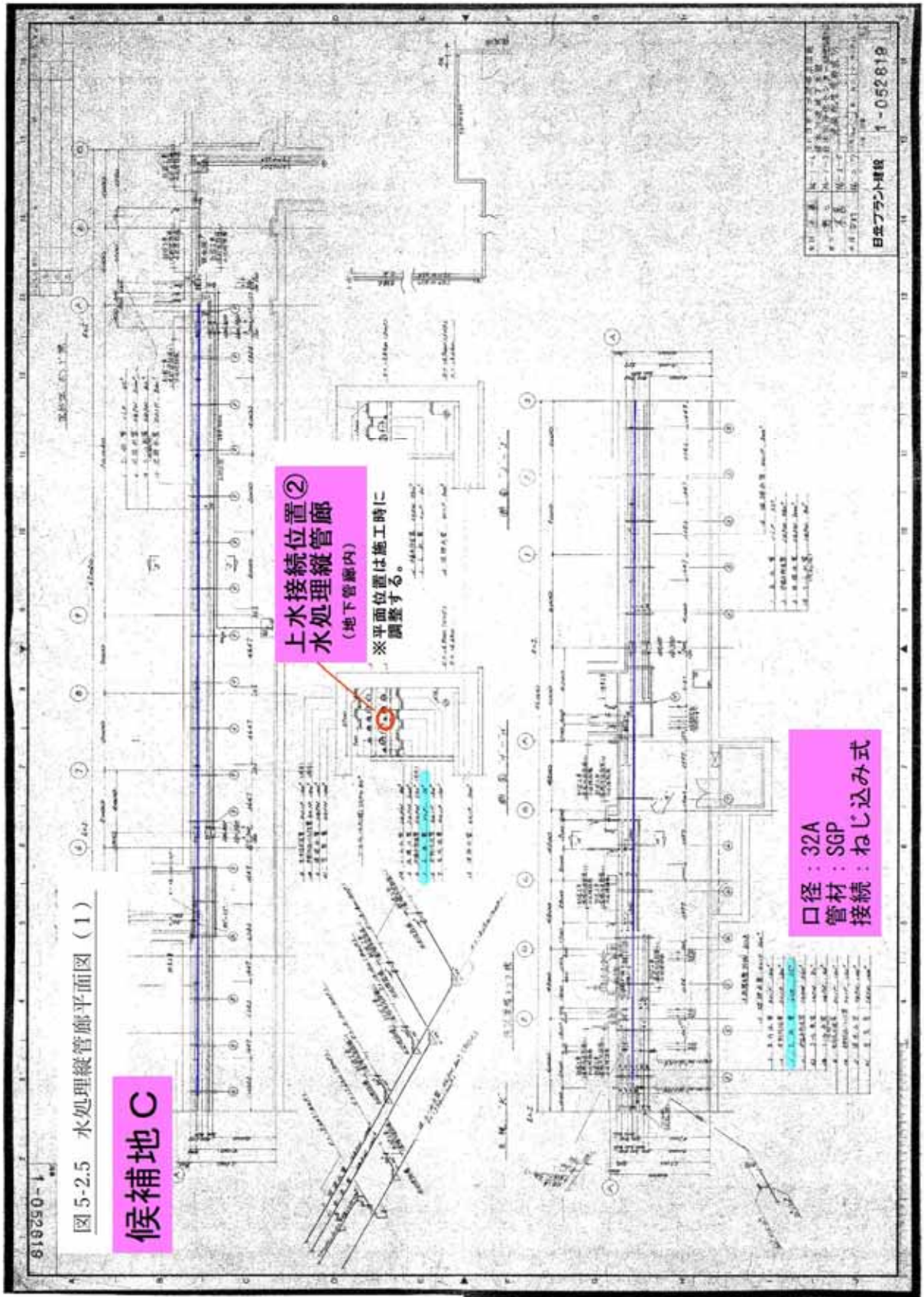
候補地 B

上水接続位置②
水処理縦管廊
(地下管廊内)
※平面位置は施工時に
調整する。

口径 : 25A
管材 : SGP
接続 : ねじ込み式

日土アサント建設 1-053285

1-053285



別紙 6 汚水排水接続箇所

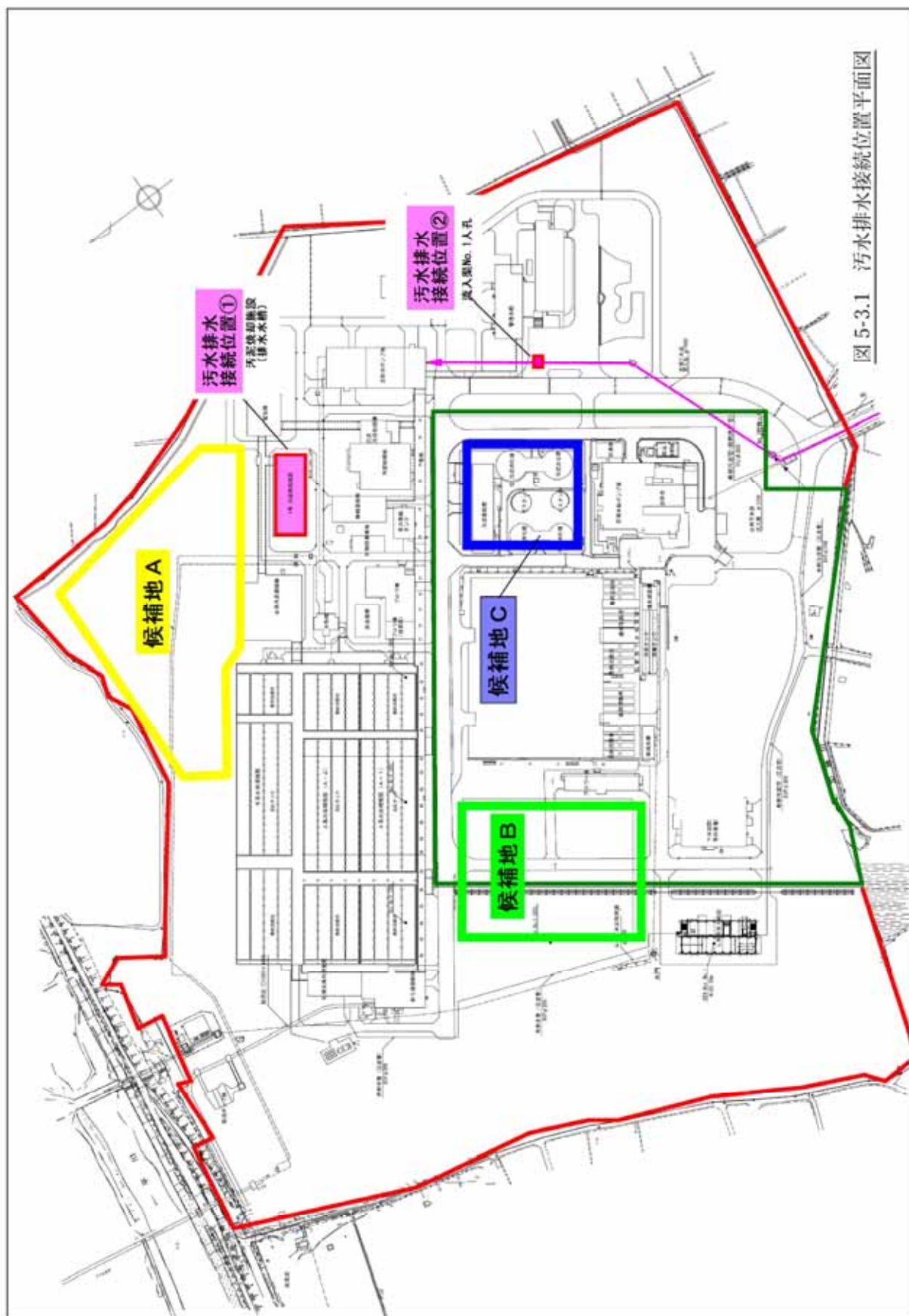


図 5-3.1 汚水排水接続位置平面図

図 5-3.3 焼却施設地下 1 階平面図

候補地 A

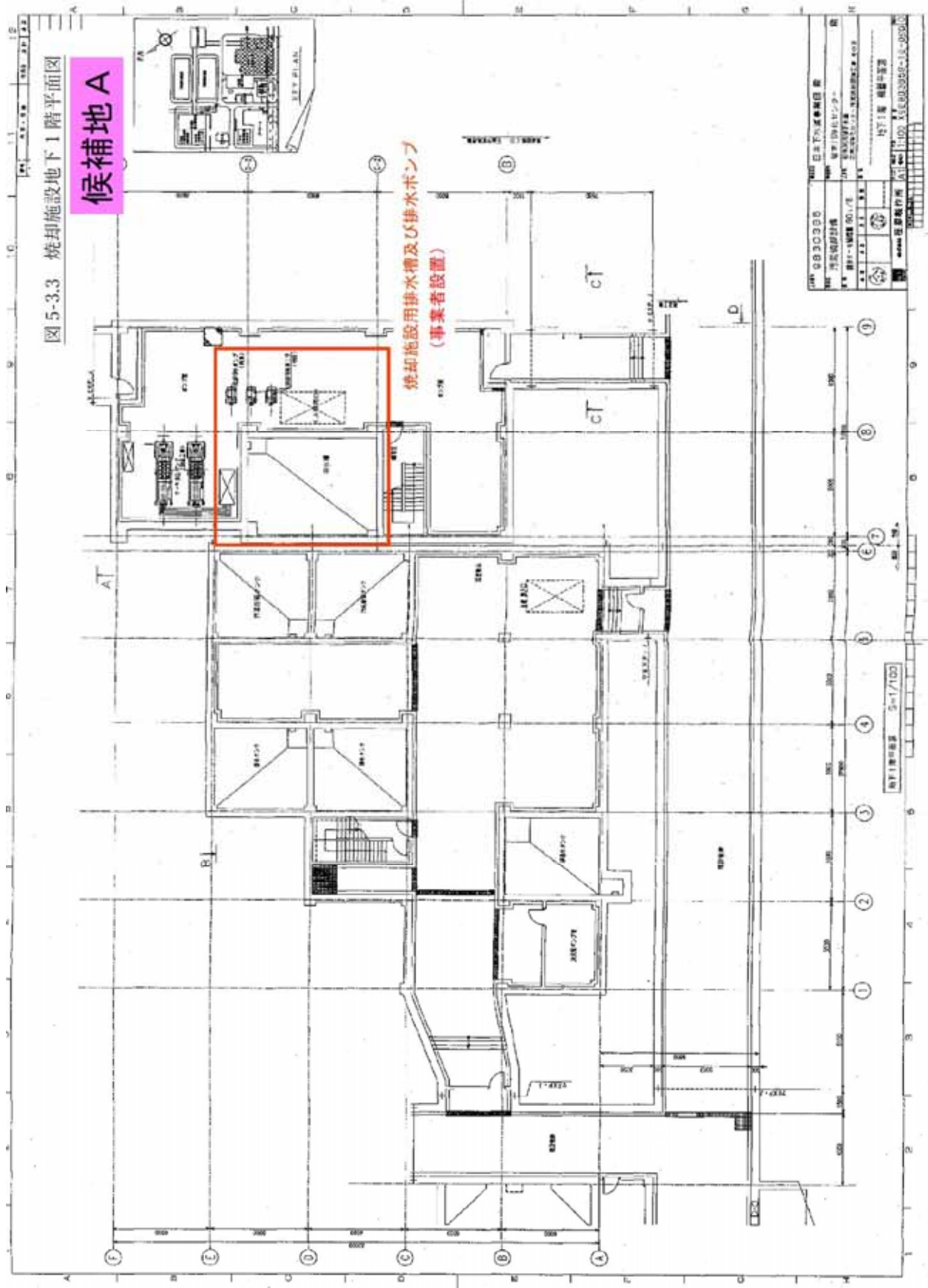
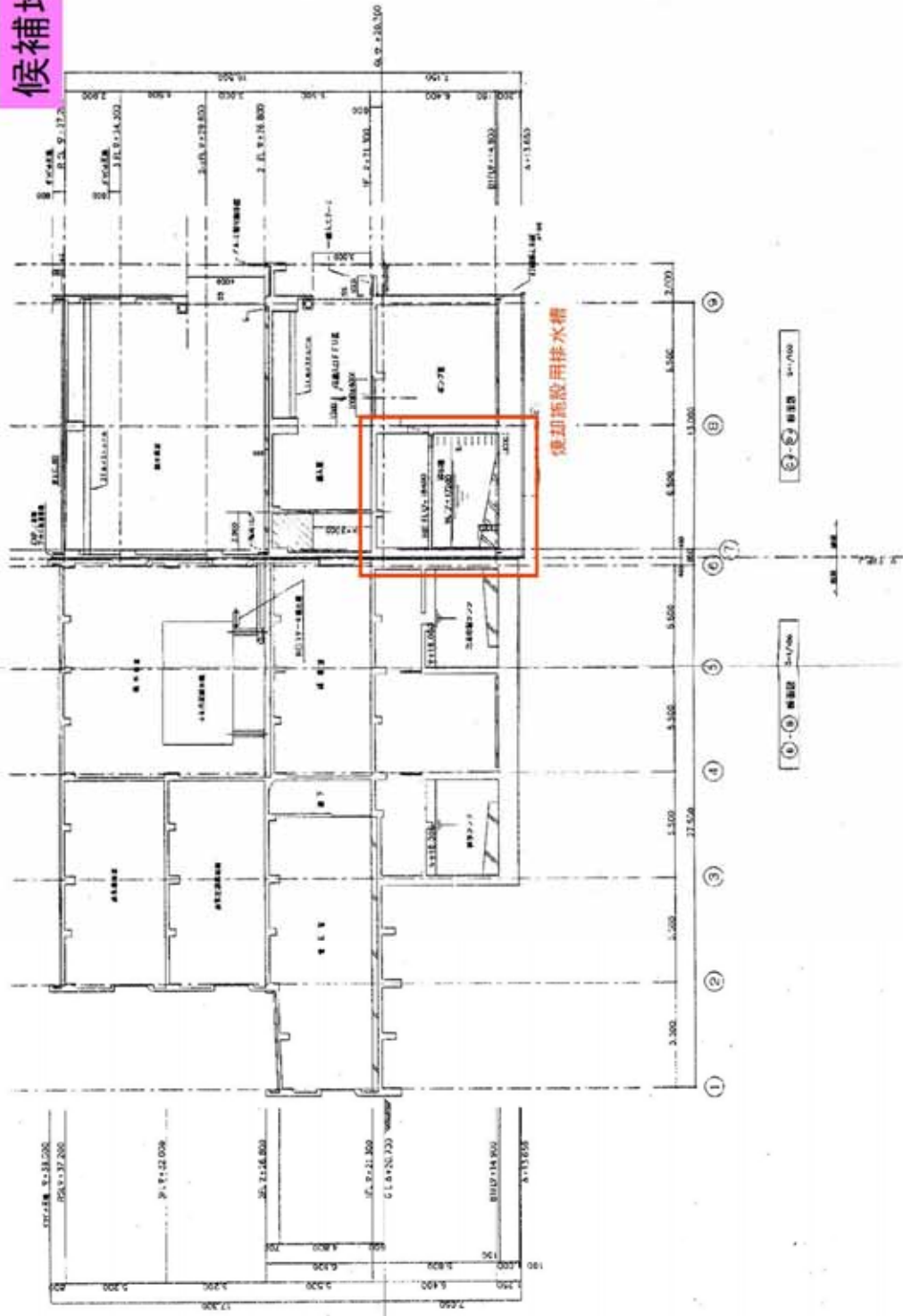


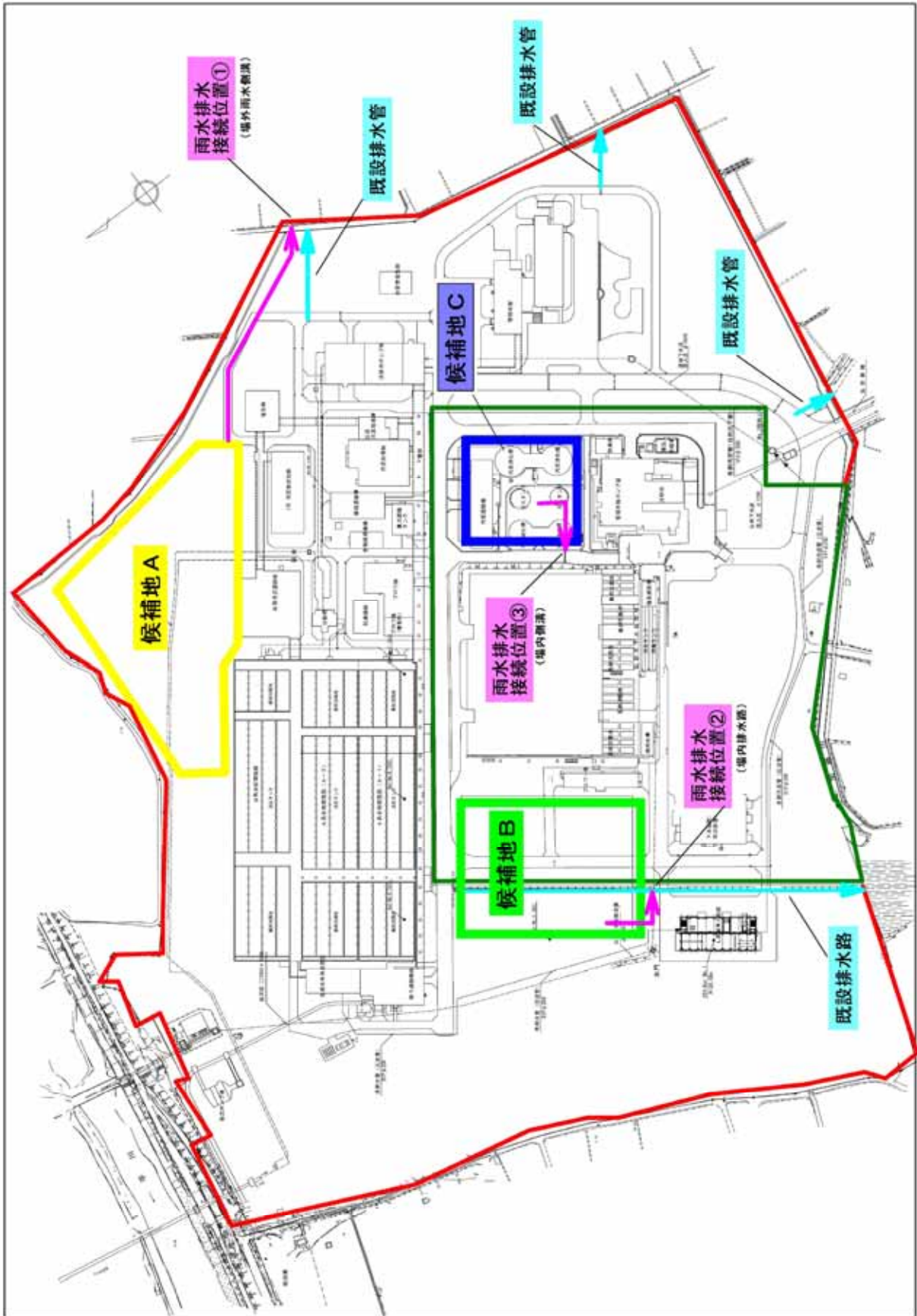
图 5-3.4 烧却施設断面図

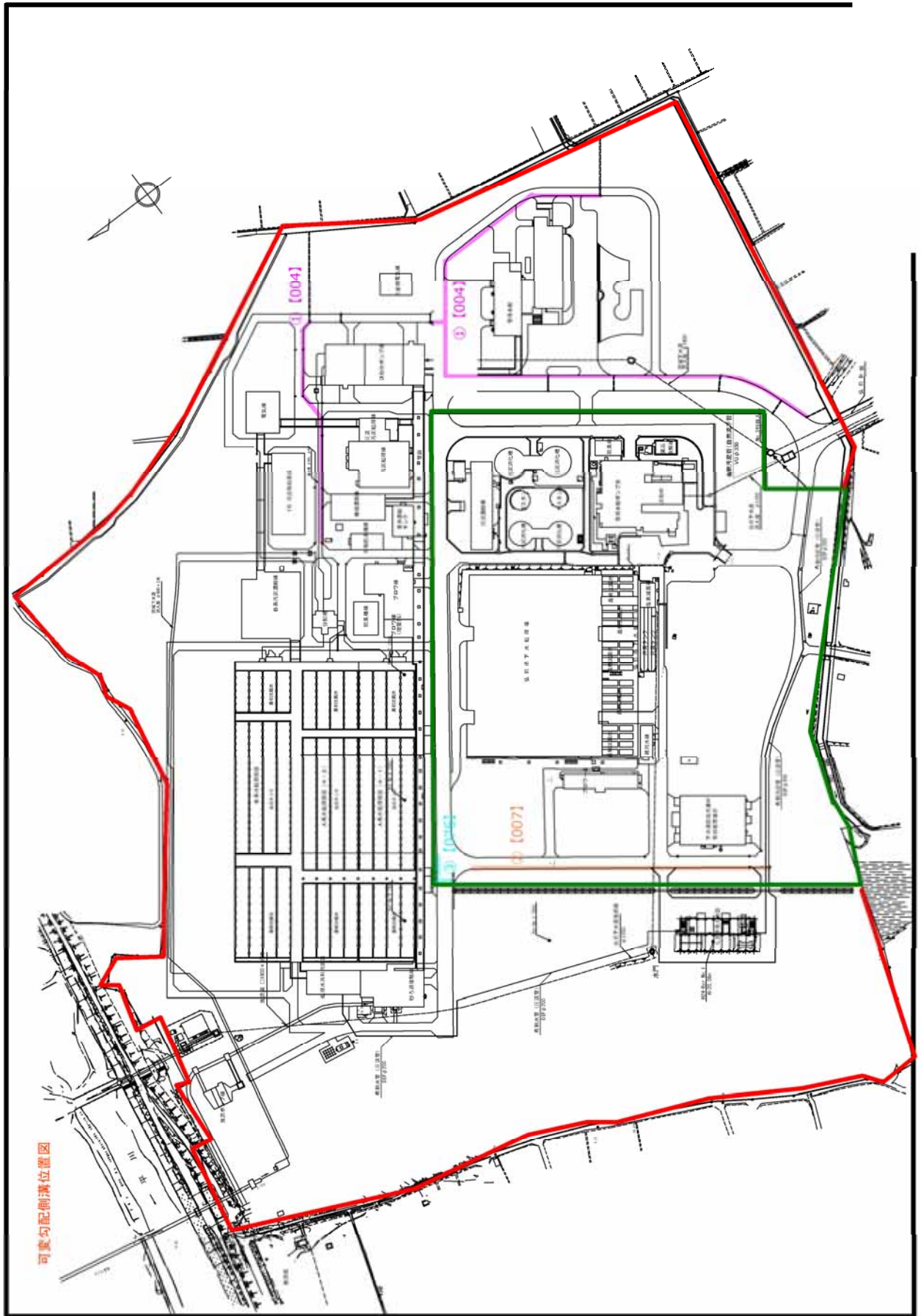
候補地 A



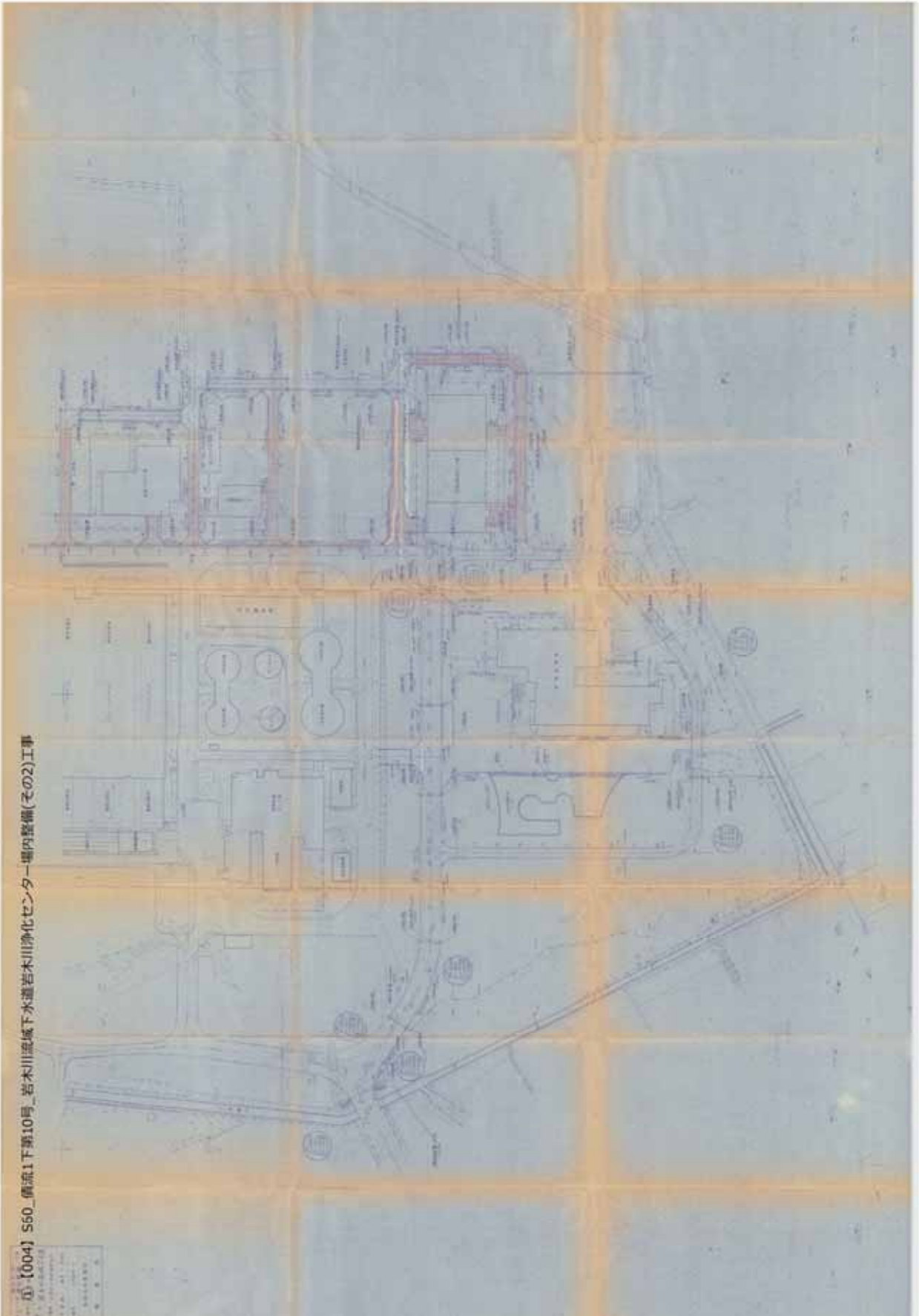
設計者 日本工務設計株式会社
 建築士 日本工務設計株式会社
 構造士 日本工務設計株式会社
 監理者 日本工務設計株式会社
 図面番号 05-3-4
 縮尺 1/100
 日付 2023.10.10

別紙 7 雨水排水接続箇所

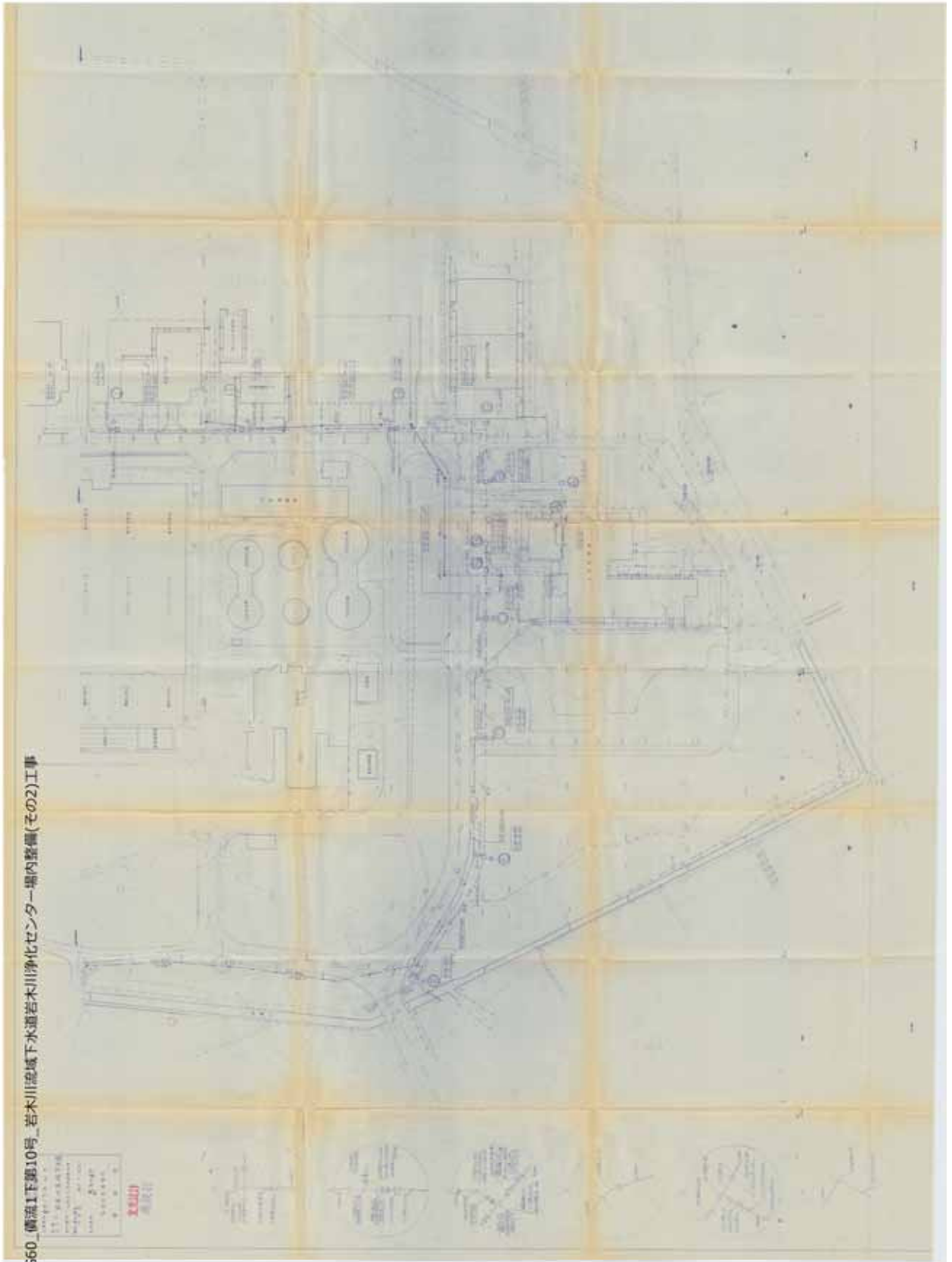




可意向配制位置图



① [004] S60_標高1F 第10号_岩木川流域下水道岩木川浄化センター場内整備(その2)工事



③ [076] H13_流1下第13号岩木川流域下水道岩木川浄化センター場内整備工事 (その2)

